



2024 年度

海星学院高等学校シラバス

第 1 学年

	4月	5月	6月	7、8月	9月	10月	11月	12月	1月	2、3月									
現代の国語	明日を開く 評論文	要点を掴む 評論文	的確に伝える つたわるように 話す	中間 考查	わかりやすく書く	社会への視点 様々な規約	意見を示す	期末 考查	資料を駆使する 評論文	資料を駆使する 統計資料をもとに書く	文章を比較して読む 評論文	中間 考查	他者を動かす 説得力のある資料をつくる	主張を吟味して詠む 評論文	文章を読み取って主張を書く	期末 考查	現代の国語		
言語文化	世界を見渡す窓 古文:説話集	漢文:論語	中間 考查	羅生門	古文: 随筆	漢文:故 事成語	考 査	評論:実体 の美と状況 の美	古文:伊 勢物語	小説	漢文:漢 詩	小説	考 査	百人一首	小説	百人一首	漢文:人面桃花	考 査	言語文化
地理総合	地図や地理情報システムと現代世界(単 元テスト)	結びつきを深める 現代世界 (単元テスト)	世界の地形と人々の生活 (単元テスト)	世界の気候と人々の生 活 (単元テスト)	世界の産業と人々の生活、世 界の宗教、民族、言語と人々 の生活(単元テスト)	期 末 考 査	多様な生活文化と地理的環境(事例調査、プレゼンテーション)	地球的課題と国際協力 (人口、食料、都市、衛生、資源、環 境問題)	中 間 考 査	自然環境と防災 (単元テスト)	生活圏の調査と地域の展望 (事例調査、プレゼンテーション)	地理総合							
公共	「公共」のとびら(単元テスト)	中間 試験	民主政治と私たち (単元テスト)	法や規範の意義 (単元テスト)	市民生 活と私法	期 末 試 験	国民の司 法参加	経済社会で生きる私たち(単元テスト)	私たちの職業生活 (単元テスト)	国際社会のなかで生きる私たち(単元テスト)	国際経済	持続可能な社会づくりに参画するために (単元テスト)	公共						
数学 I	数と式(多項式の加法・減法・乗法、因数分解)	数と式(実数、根号を含む式の 計算)	数と式(1次不等式),集合と命 題	2次関数(関数とグラフ,2次関 数のグラフ)	2次関数(2次関数の最大最小 ,2次関数の決定)	2次関数(2次方程式と不 等式)	図形と計量(三角比と相互関係,正弦・余弦定理と応用,面積,空間図形へ の応用)	データの分析(データの整理,代表値, 標準偏差)	数学 I										
数学A	場合の数(集合の要素の個数,場合の数)	場合の数(順列・組み合わせ),事象と確率(独立試行の確率)	確率(条件付き確率,期待値)	図形の性質(平面図形)	図形の性質(空間図形)	数と人間生活(約数と倍数,素数と素因数分解,最大公約数・最小公倍数,整数の割り算, ユークリッド互除法,1次不定方程式,記数法)	数学A												
科学と 人間生活	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	考 査	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球	考 査	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象	考 査	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	考 査	科学と 人間生活										
総合的な 探究の時間	基礎トレーニング①「一生使える探究のコツ入門編」	上級学校探究	基礎トレーニング②「一生使える探究のコツ練習編」	総合的な 探究の時間															
体育	体づくり運動	体力測定	サッカー	ソフトボール	テニス	バレーボール	バドミントン	バスケットボール	器械運動	体育理論	体育								
保健	健康の考え方(単元テスト)	現代の感染症とその 予防 (単元テスト)	生活習慣病などの予 防と回復 (単元テスト)	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (単元テスト)	精神疾患の予防と回復 (授業内テスト)	安全な社会づくり	応急手当	学 年 末 考 査	保健										
音楽 I	歌唱	楽典	ソルフェージュ	期 末 試 験	鑑賞「四季」	鑑賞「四季」	リコーダー	考 査	アンサンブル	合唱	音楽 I								
英語 コミュニケーション I	LESSON 1 Have a Good Day with a Good Breakfast	LESSON 2 A Mascot with a Mission	LESSON 3 Two Kinds of Leadership	LESSON 4 Older Sports and Newer Sports	LESSON 5 AI Meets the Arts	期 末 試 験	LESSON 6 What Is Happiness?	LESSON 7 The Maldives: A Dream Destination?	LESSON 8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream	LESSON 9 From Recycle to Upcycle	LESSON 10 Diversity at Japanese Companies	学 年 末 考 査	英語 コミュニケーション I						
論理・表現 I	Lesson 1 Introduce yourself to your class	Lesson 2 How do you spend your weekend?	Lesson 3 Where did you go on vacation?	Lesson 4 How can I get there?	Lesson 5 Would you like to come with me?	Lesson 6 Something really Japanese	期 末 試 験	Lesson 7 Do you do any volunteer activities?	Lesson 8 Let's enjoy school life!	Lesson 9 Are you eco-friendly?	Lesson 10 What sports do you like?	Lesson 11 That's new to me!	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most?	Lesson 14 Various countries around the world	Lesson 15 What job are you interested in?	学 年 末 考 査	論理・表現 I		
情報 I	情報社会の問題解決	期 末 考 査	コミュニケーションと情報デザイン	情報通信ネットワークとデータの活用	学 年 末 考 査	情報 I													
聖書	海星学院とキリスト教	マリア祭	世界の宗教	授業内 テスト	イエスの生涯と隣人愛①	教会を知る	イエスの生涯と隣人愛②	聖書											

2024年度 国語科 シラバス・年間指導計画

科目名	現代の国語			教科書	『現代の国語』大修館書店 デジタル版『国語便覧』大修館書店
学年	1	単位数	2	必修	副教材 『現代の国語』学習ノート大修館書店

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
学習の進め方	授業は講義やペアワーク、レポート作成を通じて進めます。特に予習の必要はありませんが、事前に調べ学習を課すこともあります。自分の力で文章を読解する活動や自分の考えを書いたり伝えたりする活動が中心となります。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
		4	1 明日をひらく『考える技術』	・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。	①言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 ②「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 ③積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	ワークシート	●		●
						ワーク	●	●	●
						振り返りワーク	●		●
	4	2 要点をつかむ『水の東西』	・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ・叙述を的確にとらえる。	①比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ①個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ③積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	ワークシート	●			
					ワーク	●	●		
					振り返りワーク			●	
	6	3 的確に伝える 伝わるように話す	・話し言葉の特徴を知る。 ・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。	①話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 ②「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 ③口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	●	●		
					活動	●	●	●	
					振り返りワーク			●	
	2	前期中間考査・返却					●	●	●
	3	わかりやすく書く	・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。	①書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。 ②「書くこと」において、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。 ③説明を書くことを通して、材料同士	ワークシート	●	●		
					活動(小論文)	●	●	●	

				の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。	振り返りワーク			●
	6	社会への視点① さまざまな規約	・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。	①実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。 ②「書くこと」において、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性を吟味している。 ③進んで、叙述を基に文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って、内容や形式について批評しようとしている。	ワークシート	●		
					活動		●	
					学習ノート	●		●
	7	4 意見を示す 発想を広げる	・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。	①出されたアイデアのそれぞれの関係を理解している。 ②「話すこと・聞くこと」において、様々な観点から情報を整理し、内容を検討している。 ③アイデアを出したり表現したりすることを通して、アイデア同士の関係をふまえた様々な観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	●		
		5 意見を書く	・構成や展開を意識して文章を書く。 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。		活動	●	●	●
					振り返りワーク			●
	8	5 論理をとらえる 『自然と人間の関係をとおして考える』	・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	①主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 ②本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえている。 ③論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	●		
					活動		●	●
					振り返りワーク	●		●
	9	前期期末考査・返却					●	●
後期	9	6 魅力的に伝える 工夫して話す	・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。	①話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解している。 ①「話すこと」「聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。	ワークシート	●	●	
		3 魅力的な紹介文を書く	・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に生かす。 ・読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。	②「話すこと」「聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫すること。 ③積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとしている。	活動		●	●
				振り返りワーク				●
	10	7 資料を駆使する 「安くておいしい国」の限界	・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	①文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 ②「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている ③図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	●		
		3			活動			●
					振り返りワーク	●	●	●
4	統計資料をもとに意見を書く	・統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。 ・統計資料を根拠として、自分の主張を書く。	①根拠として統計資料を引用することの必要性を理解している。 ②「書くこと」において、主張を支える根拠として統計資料から適切な情報を抽出できている。 ③意見文の振り返りおよび単元の総括をとおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	学習ノート	●			
				意見文		●	●	
	4	文章を比較して読む 『空気を読む』	・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	①個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ②「読むこと」において、目的に応じ	ワークシート	●		

11				て、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ③複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	学習ノート	●	●	●
					活動		●	●
	2	後期中間考査・返却				●	●	
12	4	「個人」から「分人」へ		①個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ②「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ③複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	ワークシート	●		
					活動		●	●
					学習ノート		●	●
12	4	10 他者を動かす 説得力のある資料をつくる	・提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 ・効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。	①実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ②「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 ③積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。	ワークシート	●	●	
					資料作成	●	●	●
1	3	11 主張を吟味する 根拠を吟味して読む 『贅沢を取り戻す』	・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	①情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 ②「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ③情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	ワークシート	●		
					活動		●	●
					振り返りワーク			●
3	4	文章を読み取って主張を書く 言葉についての新しい認識	・他者の主張をふまえて、自分の考えを書く。	①読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 ②「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。 ③意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	ワークシート	●		
					意見文		●	●
					学習ノート	●	●	●
	2	学年末考査・返却				●	●	

2024年度 国語科 シラバス・年間指導計画

科目名	言語文化			教科書	『言語文化』 大修館書店 デジタル版『国語便覧』 大修館書店
学年	1	単位数	2	必修	副教材 『言語文化 学習ノート』 大修館書店

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。				
学習の進め方	この授業では、毎時間プリントを配布します。プリントを綴じるファイルを用意してください。授業では、「読むこと」「書くこと」に重点を置きます。「読むこと」では、近代以降の文章や古典・漢文を読んでいます。「書くこと」では、レポート制作や作品制作を行います。また、考えを深めるために、グループワークやペアワークも行う予定です。				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標				
	① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
	②	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
③	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価				
							①	②	③		
前期	4	1	オリエンテーション								
		4	現代文編 言語文化への視点 世界を見渡す窓	・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。	①文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ③言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	小テスト	●				
						ワークシート		●			
						作文		●	●		
	振り返りシート			●							
	6	古文編 古文に親しむ 宇治拾遺物語 見のそら寝 絵仏師良秀 今昔物語集 阿蘇の史、盗人にあてのがること	・古文の文体や仮名遣いに慣れる。 ・作者の伝えたいことをとらえる。	①作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。また、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などを理解している。 ②作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。また、異なる時代に成立した文章を読み比べ、比較したり論じたりしている。 ③説話文学に興味を持ち、多様な価値観を読み取ろうとしている。また、古文の説話と現代の文化との繋がりを理解しようとしている。	小テスト	●					
					ワークシート		●	●			
					振り返りシート			●			
	5	1	漢文編 漢文に親しむ 私たちと漢文	・日本人の言語生活と、漢字・漢文の関わりを理解する。	①言語文化の特質や、自国と外国との文化の関係をj知る。	ワークシート	●				
						5	漢文編 漢文に親しむ 論語・孟子 訓読のきまり①返り点の種類と用法 訓読のきまり②再読文字の種類と用法 訓読のきまり③主な助字の種類と用法	・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ。 ・孔子や孟子の名言に親しみ、その思想と現代との関わりについて考えを深める。	②漢文訓読のきまりを理解している。名言を味わい、内容や構成を的確にとらえている。また、文章に表れているものの見方、考え方をとらえて内容を解釈している。 ③漢文訓読のきまりを理解しようとしている。「論語」「孟子」に興味を持ち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	小テスト	●
ワークシート										●	●
	1	前期中間考査			定期考査	●	●	●			

後期	6	現代文編 2言葉の紡ぐ世界 羅生門	・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。	①場面の展開を把握しながら本文を正確に音読でき、漢字を的確に用いる。 ②「下人」の心情を的確に捉えた上で、作品のテーマについて考える。各場面の比喩表現や情景描写の特徴を説明する。 ③作品の印象を話し合ったり、小説の構造や翻案作品に関心を抱いたりして、新たな読書に対する意欲を持とうとしている。	小テスト	●				
					ワークシート		●			
						振り返りシート			●	
	7	4	古文編 2自然へのまなざし 徒然草 枕草子	・作者が季節の移ろいを感じている景物や年中行事を知る。 ・作者が季節や景物を評する表現の特徴をとらえる。 ・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。	①2作品の内容や作者を知る。 ②作者が四季の趣をどこに感じているかを読み取り、共通点や相違点を考える。他の作品との関連を調べ、現代との関わりを踏まえて理解を深める。 ③古人の季節感を積極的に分析し、その特徴を捉えようとしている。作品中の自然観や表現のしかたを参考に、自分の季節感が適切に伝わるように書こうとしている。	小テスト	●			
						ワークシート	●	●		
						振り返りシート			●	
	8	4	漢文編 2現代に生きる言葉 蛇足(戦国策) 完璧(十八史略) 鶏鳴狗盗(十八史略) 臥薪嘗胆(十八史略)	・音読して漢文訓読のリズムに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・故事成語の意味や日本への影響を理解する。	①故事成語の成り立ちと日本で用いられてきた文化的背景について、身近な例を挙げながら考えを深める。古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを適切に用いることができる。 ②本文全体を正確に理解し、込められた寓意について自らの考えを深める。 ③故事成語について興味をもち、本文に関連するほかの例を探したり、調べたりしようとしている。	小テスト	●			
						ワークシート		●		
						振り返りシート			●	
		9	1	前期期末考査		定期考査	●	●	●	
	後期	9	4	現代文編 3伝統と発展 実体の美と状況の美	・美についての筆者の考えを読み取る。	①日本人と西欧人の美意識について理解するとともに、日本人や西欧人の美意識に関する例を自ら見つけ出す ②各段落の内容の読み取りをもとにしながら筆者の主張を把握するとともに、本文全体の構成や表現の特色を関連させながら、理解を深める。 ③日本人と西欧人の美意識の違いについて、筆者の主張をふまえながら自らの「美」に対する考えをまとめようとしている。	小テスト	●		
							ワークシート		●	
						振り返りシート			●	
9・10		5	古文編 4人との交わり 伊勢物語	・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・和歌の修辞技法と、その効果を理解する。 ・物語中に表される古典世界の恋愛・結婚のあり方をとらえる。	①作品に表れた言葉の意味や文化的背景に加えて表現技法とその効果について理解し、文章表現を読み味わう。 ②歌物語について理解し、話の展開や登場人物の心情を叙述に基づいて的確にとらえている。 ③古人の旅程について興味をもち、他の資料を調べたり、和歌の修辞技法を自分の文章表現に取り入れたりして、表現効果を味わおうとしている。	小テスト	●			
						ワークシート		●		
						振り返りシート			●	
10		4	現代文編 4表現の多様性 夢十夜 青が消える (Losing Blue)	・作品が暗示しているものについて理解を深める。	①表現の特徴をとらえ、作品の中での効果や意味を理解する。 ②各段落の設定や、登場人物の対比を理解し、主題に結びつけている。	小テスト	●			
						ワークシート		●		
						振り返りシート			●	
10・11		5	漢文編 3想いを表わす言葉<二> > 自然・友情・人生	・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。 ・自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。	①漢詩特有の表現について理解している。唐の時代や作品の背景について理解している。 ②絶句・律詩の構成やきまりについて理解している。詩の特徴を理解している。 ③唐詩に興味をもち、それぞれの主題に対して自分なりの味わい方を求めている。	小テスト	●			
						ワークシート		●		
						振り返りシート			●	
11	4	現代文編 6文学と人生 セメント樽の中の手紙 わたしが一番きれいだったとき	・作品の時代背景と、登場人物との関係を理解する。 ・会話文や手紙から、登場人物の状況や心情を理解する。	①語句の量を増やし、文化的背景について理解を深めている。 ②作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ内容の解釈を深める ③作品に興味をもち、時代背景や登場人物たちの関係を理解したり、会話や手紙から登場人物の心情や状況を理解したりする学習に意欲的に捉えている。	小テスト	●				
					ワークシート		●			
					振り返りシート			●		
11・12	1	後期中間考査			定期考査	●	●	●		
		5	古文編 3想いを表わす言葉<一> > 百人一首源平戦	・自分の感じたことを言葉にする。 ・和歌の印象的な部分について考える。	①和歌が日本の伝統的文化であることを理解している。 ②歌の主題を簡潔に理解する。 ③競技を通して日本の伝統文化を身体的に感じ取ろうとしている。	小テスト	●			
						ワークシート		●		
		4	現代文編 5日本と世界	・「私」と「老人」の描写を比較し、人物像を読み	①小説を通して、日本の文化と外国の文化との関係について理解している。	小テスト	●			

1		橋のたもとの老人	取る。 ・翻訳作品の表現の特徴や意義について、理解を深めている。	②作品や文章に表れておいるものの見方、感じ方、考え方をとらえ内容を解釈している。 ③言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート		●	
					振り返りシート			●
1 ・ 2	4	古文編 3想いを表わす言葉<- > 百人一首	・自分の感じたことを言葉にする。 ・和歌の印象的な部分について考える。	①和歌が日本の伝統的文化であることを理解している。 ②歌の主題を簡潔に理解する。 ③競技を通して日本の伝統文化を身体的に感じ取ろうとしている。	小テスト	●		
					ワークシート		●	
2	4	漢文編 4文学と社会 人面桃花	・物語の展開を整理し、登場人物の心情を理解する。	①物語の内容を理解している。 ②物語の登場人物の関係を読み取り、最終場面の意味を理解している。 ③中国の物語と日本の物語を比較して、そのおもしろさを味わおうとしている。	小テスト	●		
					ワークシート		●	
					振り返りシート			●
3	1	学年末考査			定期考査	●	●	●

2024 年度 地理歴史科 シラバス・年間指導計画

科目名	地理総合			教科書	『高校生の地理総合』 帝国書院 『新詳高等地図帳』 帝国書院
学年	1	単位数	2	必修	副教材 『高校生の地理総合ノート』 帝国書院

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
学習の 進め方	<p>プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。授業は講義やペアワーク、レポート作成を通じて進めます。単元の進め方は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予習テストの実施(努力すれば誰でも点数の取れる、簡単な確認テストです。) 2. ポートフォリオの「学習前」の記入(学習前の知識などを整理します。A⁴レッドシートを使います。) 3. 授業(ワークシートを用いて行います。) 4. ポートフォリオの記入(単元の学習終了後の状況や学んだことを整理します。) 5. 単元テストの実施(単元の内容を振り返るテストです。) 6. 教員と学習状況の振り返り(単元テストやポートフォリオなどの結果を踏まえて行います。) <p>なお、定期テストは、前期期末、後期中間の2回です。単元テスト、定期テスト共に、一問一答だけではなく、資料を用いる問題や、論述問題を課します。</p>				
評価の 観点	観点の趣旨や到達目標				
	①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	<p>・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。(知識)</p> <p>・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。(技能)</p>			
	②	<p>・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。(思考)</p> <p>・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。(判断、表現)</p>			
③	<p>・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通してかん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>				

学期	月	配 当 時 間	単 元	学 習 内 容	評 価 基 準	評 価 方 法	観 点 別 評 価												
							①	②	③										
前 期	4	1	オリエンテーション																
											2	1部1章 地図や地理情報システムと現代社会 1節 地球儀と地図	緯度や経度の差によって生じる生活の違いはどのようなものがあるのか、そして地図はなぜ多くの種類があるのか。	①地球上における位置のとらえ方について理解している。 ②地球上における位置の違いは、どのような物事に、どのような形となって現れているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球上における位置の違いによって生じている物事について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	予習テスト	●		●	
															ワークシート		●		
		ポートフォリオ			●														
		3	1部1章 地図や地理情報システムと現代社会 2節 地図と地理情報システム	地図と地理情報システム(GIS)には、それぞれどのような役割や有用性があるのだろうか。	①さまざまな地図やGISの用途について理解している。 ②さまざまな地図やGISについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③さまざまな地図やGISについて、よりよい社会の実現を視野にそこのみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●										
						ワークシート		●											
						GIS マップ作成	●	●											
						ポートフォリオ			●										
		5	1	1部1章 単元テスト					●	●									
									1部2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域	国家の領域と国境はどのように定められ、日本の位置と領域にはどのような特徴があるのだろうか。	①国境の種類や国家の主権、日本の領土について理解している。 ②国境の種類や国家の主権、日本の領土について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国境の種類や国家の主権、日本の領土について、よりよい社会の実現を視野にそこのみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●				
	ワークシート												●						
	ポートフォリオ													●					
	1								1部2章 結びつきを深めるげん大世界 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	現代世界を表したさまざまな地図から、人やモノ、情報の結びつきをどのように読み取ることができるだろうか。	①国際関係と経済のグローバル化、交通網の発達について理解している。 ②国際関係と経済のグローバル化、交通網の発達について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際関係と経済のグローバル化、交通網の発達について、よりよい社会の実現を視野にそこのみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●				
		ワークシート		●															
		ポートフォリオ			●														
6	4	1	1部2章 単元テスト				●	●											
							1	1部 評価総括					●		●				
													2部1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活	世界各地にみられる地形は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか。	①生活の舞台となる地形について理解している。 ②生活の舞台となる地形について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活の舞台となる地形について、よりよい社会の実現を視野にそこのみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●
																ワークシート		●	
																ポートフォリオ			●
1	2部1章1節 単元テスト			●	●														
5	2部1章 生活文化の多様性と国際理解 2節 世界の気候と人々の生活	気候の違いは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①気候のしくみと分布、生活に与える影響について理解している。 ②気候のしくみと分布、生活に与	予習テスト	●		●												

		活		える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気候のしくみと分布、生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	ワークシート		●	
	7				ポートフォリオ			●
		1	2部1章2節 単元テスト			●	●	
	8	2部1章 生活文化の多様性と国際理解 3節 世界の産業と人々の生活	産業の発展は人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。	①産業の発展とその変化、課題について理解している。 ②産業の発展とその変化、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の発展とその変化、課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●
		2			ワークシート		●	
					ポートフォリオ			●
		2部1章 生活文化の多様性と国際理解 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	宗教・民族・言語は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①宗教や言語といった文化が、民族というまとまりの形成や、人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 ②世界の民族に着目しながら、各民族がどのような文化や生活様式をもっているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③宗教や言語といった文化が各民族を特徴づけ、人々の生活を形づくってきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	予習テスト	●		●
		1			ワークシート		●	
					ポートフォリオ			●
		1	2部1章 3,4 節 単元テスト			●	●	
	9	2	前期末考査、返却			●	●	
		2部1章 生活文化の多様性と国際理解 事例調査	2部1章で学習した生活文化の多様性について諸外国の事例を調査し、発表する。	①地理的事象が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している ②生活文化の多様性が地理的な要因によって形成されたことを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性について主体的に追究し、課題を見いだしている。	プレゼンテーション	●	●	
	10	6			ポートフォリオ			●
後期		1	2部1章 評価総括					●
		2部2章 地球的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題	世界にはどのような地球規模の課題があり、課題同士はどのように関わり合っているだろうか。SDGsの目標と照らしてみよう。	①どのような地球規模の課題があり、課題どうしがどのように関係しているのかについて理解している。 ②SDGsと照らしながら、地球規模の課題や、課題どうしの関係性について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球規模の課題に対するSDGsの達成に向けて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	レポート	●	●	
		2			ポートフォリオ			●
		2部2章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題	地域によって異なる人口問題に対し、どのような対策ができるのだろうか。	①世界の人口分布と諸問題、途上国と先進国それぞれの人口問題についての取り組みについて理解している。 ②世界の人口分布と諸問題、途上国と先進国それぞれの人口問題についての取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の人口分布と諸問題、途上国と先進国それぞれの人口問題についての取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●
		2			ワークシート		●	
					ポートフォリオ			●

	1	2部2章 地球的課題と国際協力 2節 食料問題	世界にはどのような食料問題があり、その解決のためにどのような取り組みが必要だろうか。	①世界と日本でどのような食料問題が生じているのかについて理解している。 ②各地で異なる原因に着目しながら、食料問題がどこで、どのような形となって生じているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③食料問題の解決に必要な取り組みについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	予習テスト	●		●				
					ワークシート		●					
						ポートフォリオ			●			
	2	2	3節 都市・居住問題	世界にはどのような都市・居住問題があり、どのような取り組みが行われているのだろうか。	①都市の形成と構造、発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について理解している。 ②都市の形成と構造、発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③都市の形成と構造、発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●			
									ワークシート		●	
									ポートフォリオ			●
	2	2	5節 資源・エネルギー問題	私たちは生活に欠かせない資源・エネルギーをどのように生み出し、利用していくべきだろうか。	①エネルギーの種類とエネルギー問題の解決に向けた取り組みについて理解している。 ②エネルギーの種類とエネルギー問題の解決に向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③エネルギーの種類とエネルギー問題の解決に向けた取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●			
									ワークシート		●	
									ポートフォリオ			●
									レポート		●	●
	1	1	6節 地球環境問題	地球環境問題を解決するためにはどのような取り組みが求められるのだろうか。	①地球環境問題がどこで、どのような影響を及ぼしているのかについて理解している。 ②海洋汚染や熱帯林破壊に着目しながら、地球環境問題がどこで、どのように生じており、どのような影響が生じているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球環境問題が引き起こされる要因や、各地に及ぼす影響について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	予習テスト	●		●			
									ワークシート		●	
								ポートフォリオ			●	
12	1	後期中間考査(2部2章 単元テスト)				●	●					
	1	2部2章 評価総括						●				
	1	3部1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境	日本の自然環境は、世界と比較するとどのような特徴があるのだろうか。	①日本の地形や気候の特徴について理解している。 ②日本の地形や気候の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地形や気候の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●				
								ワークシート		●		
								ポートフォリオ			●	
2	3部1章 自然環境と防災 2節 地震・津波と防災	地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要だ	①地殻変動による災害について理解しており、地理的スキルを身に付けている。	予習テスト	●							

			ろうか。	②地殻変動による災害について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地殻変動による災害について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	レポート		●		
					ポートフォリオ			●	
1	2	3節 気象災害と防災	気象災害を防ぐために、どのような取り組みが必要だろうか。	①地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について理解しており、地理的スキルを身に付けている。 ②地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	予習テスト	●		●	
					レポート		●		
					ポートフォリオ			●	
2	2	4節 自然災害への備え	自然災害に対して、私たちはどのように備えるべきだろうか。	①自然災害による被害を最小限にするために必要な備えについて理解している。 ②事前の備えに着目しながら、自然災害による被害はどのように最小化することができるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害による被害を最小限にするために、事前にできる備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	予習テスト	●		●	
					ワークシート		●		
					ポートフォリオ			●	
	1	3部1章 単元テスト					●	●	
	1	3部1章 評価総括							●
3	6	2章 生活圏の調査と地域の展望	私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。	①地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について理解している。 ②地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	地域調査	●	●		
					プレゼンテーション もしくはレポート	●	●		
					ポートフォリオ			●	
		3部2章 評価総括							●

2024 年度 公民科 シラバス・年間指導計画

科目名	公共			教科書	『公共』 東京書籍
学年	1	単位数	2	必修	副教材

学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
学習の進め方	教科書とプリントを使って学習します。様々な課題を考える中で、自分の考察と他の人の考察の違いを意識しながら、伝え方や論理性を磨きます。レポート、ディベート、プレゼンテーションなどの活動から、自分の言葉で表現する授業です。また、単元テストも実施します。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
	② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
	③ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
			第1部 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年	アイデンティティの確立、現代社会を生きる課題、人間関係の形成と社会参画の意義などについて理解する。	①アイデンティティの確立、現代社会を生きる課題、人間関係の形成などについて理解している。 ②自己形成の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代社会を生きる課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	グループ発表		●	●
			(2)社会的な関係のなかで生きる人間	社会でのあり方について、思考実験を通して自己の考え方と向き合う。	①人間存在を、思想家の考え方を手がかりに理解している。 ②思想を手掛かりに、個人と社会の関係について多面的・多角的に考察し表現している。 ③思想を手掛かりに自分の意見を表現して他者と交換して主体的に追究している。	ディベート	●	●	
						ミニレポート	●	●	●
	5	1	単元テスト				●	●	●
	3		第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理	現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解し、生命倫理や環境倫理について考察し議論する。	①現代の諸課題について判断し、功利主義や義務論などの考え方について理解している。 ②功利主義と義務論及びロールズについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③正しさや善さを裏付ける考え方について、先人の思想を手がかりに主体的に追究している。	グループ発表		●	●
					評価レポート	●	●	●	

6	5	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。 社会における利害の調整のしくみとしての市場の働きと国家の役割、及びそれぞれの課題について理解する。	①民主主義の課題、法の支配、立憲主義と権力分立、憲法と民主主義について理解している。 ②基本的な人権の尊重などの視点から、法の支配や立憲主義、権力の分立の意義について考察し、表現している。 ③社会構成員の間の対立を調整し、意思を集約・決定するしくみとしての民主主義の意義と課題について、主体的に追究している。	グループ発表	●	●	●	
					ディベート	●	●	●	
					新聞レポート	●	●	●	
	1	前期中間試験				●	●	●	
	10	第2部 第1章 民主政治と私たち	民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解する。	①民主主義、地方自治及び国会、内閣の役割、政治参加と、政党と利益集団、メディアと世論について理解している。 ②民意を反映した政治を実現する課題について、世論調査、投票率の観点から考察している。 ③政治のしくみや運用に関わる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	グループ発表	●	●	●	
		テーマ1 民主政治と政治参加	民意を反映した政治を実現するための課題について世論調査、投票率、選挙結果の観点から理解する。		調査プレゼン	●	●	●	
		租税教室	外部講師による講演	①②③具体的な事例から、教科書の知識をもとに考察を深める。	ディベート	●	●	●	
	7	1	単元テスト				●	●	●
	8	5	第2章 法の働きと私たち	法や規範の意義と役割、法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。	①法や規範の意義と役割、法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 ②法の意義と役割、法と契約、消費者の権利と責任、司法参加の意義などについて考察し、表現している。 ③法の意義と役割、法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義について、主体的に追究している。	グループ発表	●	●	●
			テーマ1 法や規範の意義と役割			調査プレゼン	●	●	●
テーマ2 市民生活と私法			民法の概要、過失責任の原則、契約自由の原則や消費者契約の特性と消費者法制、消費者市民社会の形成などの点から理解する。		新聞レポート	●	●	●	
9	1	前期末試験				●	●	●	
10	3	テーマ3 国民の司法参加	裁判員と死刑制度、死刑制度の合憲性と世論、国際社会における死刑制度について理解し、裁判員として死刑の判断を下すことの是非について、多面的・多角的に考察する。	①司法権の独立、違憲審査権、刑事司法の課題、裁判員制度などについて理解している。 ②資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、まとめている。 ③司法権や裁判制度のしくみ、刑事司法の課題、裁判員制度などについて、主体的に追究している。	グループ発表	●	●	●	
					調査プレゼン	●	●	●	
					新聞レポート	●	●	●	
10	12	第3章 経済社会で生きる私たち	経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。	①経済活動の意義、市場経済のしくみ、経済成長、金融の働き、中央銀行の役割、財政、社会保障の課題について理解している。 ②経済活動の意義、市場経済のしくみと政府、金融環境の変化、財政と社会保障の課題について、考察し、表現している。 ③経済活動の意義、グローバル化の経済活動の動き、市場経済における価格と、政府の働きについて主体的に追究している。	グループ発表	●	●	●	
		テーマ1 現代の経済と市場			調査プレゼン	●	●	●	
		テーマ2 市場経済における金融の働き			評価レポート	●	●	●	
11	1	単元テスト				●	●	●	
11	5	第4章 私たちの職業生活	資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。	①職業選択の課題、労働者の権利、雇用環境の変化と労働問題などについて、理解している。 ②働くことの意義、職業選択とキャリア形成などについて、考察し、表現している。 ③働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、職業選択とキャリア形成などについて、主体的に追究している。	グループ発表	●	●	●	
		テーマ1 働くことの意義と職業選択			調査プレゼン	●	●	●	
		テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題			評価レポート	●	●	●	

1	12	1	単元テスト			●	●	●	
		7	第5章 国際社会のなかで生きる私たち	国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。	①国際社会の成り立ち、国際連合の役割、現代の紛争、貿易のしくみ、国際金融のしくみ、国際経済の諸課題について理解している。 ②国際社会の成立、国際法の意義、国際社会の変化、集団安全保障のしくみ、国際連合の課題などについて考察し、表現している。 ③国際連合の役割、日本の平和主義、現代の紛争と影響、国際平和に向けた課題、貿易や国際金融のしくみ、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。	グループ発表		●	●
			テーマ1 国際社会のルールとしくみ			ディベート	●	●	
			テーマ2 国際社会と平和主義			新聞レポート	●	●	●
		7	テーマ3 国際平和への課題						
	1	1	単元テスト			●	●	●	
	2	2	テーマ4 グローバル化する国際経済	グローバル化する国際経済の現状と課題について、貿易と国際収支、外国為替と国際通貨制度、国際経済秩序と動き、地域統合の動向、新興国の動き、南北問題の背景と推移、人口・食料問題などの観点から理解する。	①国際経済の課題について、国際収支、国際通貨制度、南北問題の背景、人口・食料問題などの観点から理解している。 ②国際経済の現状、国際収支、国際経済秩序と動き、南北問題の背景、人口・食料問題などの観点から考察し表現している。 ③国際経済の課題について、国際収支、国際通貨制度、新興国の動き、南北問題の背景と推移、人口・食料問題などの観点から、主体的に追究している。	グループ発表		●	●
						調査プレゼン	●	●	●
						計画書	●	●	●
	3	9	第3部 探究活動	・現代社会の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。	①課題解決に必要な事項を理解している。また、第1部・第2部で学習した知識と関連付けている。 ・必要な資料を収集・整理し、必要な事項を抽出しまとめている。 ②課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析したり考察したり判断したりしている。 ・得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 ③探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進行を自らふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。	計画書	●	●	●
						調査プレゼン	●	●	●
						評価レポート	●	●	●
1	1	学年末試験			●	●	●		

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画

科目名	数学 I				教科書	新編 数学 I (数研出版)
学年	I	単位数	3	必修	副教材	書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学 I (数研出版)

学習目標	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育む。					
学習の進め方	毎時間、学習内容に沿った授業プリントを配付して授業を進める。時に、クロムブック等を活用する。演習等に多くの時間をかけるようにする。グループワーク等を取り入れながら、理解を深め、時には発表する場も設けていく。					
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度					
	①	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				
	②	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力が身に付いている。				
	③	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	I	オリエンテーション						
	4・5	9	第1章 数と式	第1節 式の計算 ・多項式の加法・減法 ・多項式の乗法 ・因数分解 文字式の計算の決まりや、展開と因数分解について学習する。以降の学習の基礎・基本となるので、公式を確認しながら、異なる数字や文字があっても同じ法則が使えるということを反復練習で身につける。	① ・数の拡張の意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 ・ある文字に着目して整式の同類項をまとめ、整理することができる。 ② ・式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解し、また整式を適切な形に整理することによって因数分解や計算ができる。 ③ ・展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、既習事項を問題解決に活用使用とする態度が身に付いている。	小テスト ・単元テスト	●		
						レポート・発表		●	●
						ポートフォリオ			●

前期	5・6	6	<p>第1章 数と式</p> <p>第2節 実数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実数 ・根号を含む式の計算 <p>数を実数まで拡張する意義を理解する。また、式を多面的に絶対値や平方根の意味を理解し、分母の有理化をする計算まで拡張する。平方根を利用した計算の中で、やや高度な力を付けるために、大学入試の過去問などで出された問題にも挑戦する。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 ・循環小数を分数にまたその逆の計算ができる。 ・絶対値、平方根の意味を理解し、それらの計算ができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 ・実数を数直線上の点の座標としてとらえることができる。 ・平方根の性質、平方根の積、商などについて、一般化して考えられる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。 ・分母に根号を含む式について、分母を有理化することの意義を理解しようとする。 ・有限小数、循環小数が分数で表現できることに興味をもち、考察しようとする。 	<p>小テスト ・単元テスト</p>	●		
					<p>レポート・発表</p>		●	
					<p>ポートフォリオ</p>			●
	6	1	前期中間試験				●	●
	6・7	7	<p>第1章 数と式</p> <p>第3節 1次不等式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式 <p>不等式の性質を具体的な計算や事象に置き換えて、言葉で説明できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式は数直線上で表されることを利用して、不等式の図形的な意味を計算結果と結びつける。 ・絶対値を含んだ方程式や不等式は、2次不等式にもつながる内容となるのでしっかりと理解し、言葉や図で説明できるようにする。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式の解の意味を理解し、数の大小関係を式で表すことができる。 ・1次不等式を解くことができ、その解を数直線を用いて表示できる。 ・連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 ・絶対値の意味を理解し、絶対値を含む方程式、不等式を解くことができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させることができ、問題を解くことができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート「正方形と円の面積の大小」など、具体的な場面で、目的に合うように文字を使い、式に表現して考察しようとするができる。 ・第1章で学んだ内容に関する課題について、主体的に学習し、数学のよさを認識できる。 	<p>小テスト ・単元テスト</p>	●		
					<p>レポート・発表</p>		●	●
					<p>ポートフォリオ</p>			●
	7・8	11	<p>第2章 集合と命題</p> <p>命題と条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合 ・命題と条件 ・命題とその逆・対偶・裏 ・命題と証明 <p>集合の要素の個数に関する基本的な関係や和・積の法則について理解する。命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみられたり目的に応じて適切に変形したりする力を養い、また集合の考え方をを用いて論理的に考察し簡単な命題を証明できる力を養う。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合の表し方を理解し、集合の特徴によって、的確にそれを表すことができる。 ・空集合、共通部分、和集合、補集合について理解している。 ・命題を表す記号を理解し、命題の真偽を考察することができる。 ・命題の真偽、反例の意味を理解している。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義や使い方を理解している。 ・条件の否定、ド・モルガンの法則を理解しており、条件の否定が求められる。 	<p>小テスト ・単元テスト</p>	●		
					<p>レポート・発表</p>		●	●

前期	7・8	10	第2章 集合と命題		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命題が偽であることを示すにはどうすればよいかを理解できている。 ・条件と集合の関係を理解し、必要条件、十分条件を集合の関係でとらえることができる。 ・対偶、背理法を理解し、命題を証明するのにこれらを適切に用いることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命題とその対偶の真偽の関係について考察しようとする。 ・対偶、背理法を用いた証明方法について、興味・関心をもつ。 ・素数に関する課題レポートをきっかけに、素数に興味をもち考察しようとする。 	ポートフォリオ			●	
	8・9	10	第3章 2次関数	<p>第1節 2次関数とグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数とグラフ ・2次関数のグラフ <p>関数と方程式の違いを理解した上で、中学校で学習した2次関数を拡張し、学習する。標準形に式を変える平方完成を活用することで、2次関数のグラフを図示できるようにする。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$y=f(x)$ や $f(a)$ の表記を理解し、用いることができる。 ・1次関数のグラフがかけて、値域、関数の最大値、最小値が求められる。 ・放物線 $y=ax^2+q, y=a(x-p)^2$ などの表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 ・平方完成して、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関係を式で表現できる。 ・放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して考察することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上の点と象限について、理解を深めようとする。 ・一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフについて、軸、頂点の式を考察しようとする。 ・グラフの平行・対象移動の一般公式を積極的に利用しようとする。 ・課題レポート等により、放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 	<p>小テスト ・単元テスト</p>	●	●		
						レポート・発表			●	●
	9	1	前期期末試験					●	●	●
後期	9・10	9	第3章 2次関数	<p>第2節 2次関数の値の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 <p>関数を視覚化したグラフを活用して、最大値、最小値を求められるようにする。 2次関数において、頂点と放物線上の1点、軸と放物線上の2点や放物線を通る3点と与えられた条件にふさわしい2次関数の式を作る。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 ・最大・最小の応用問題に2次関数を利用できる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の値の変化がグラフから考察できる。 ・定義域が変化するときの関数の最大値や最小値について考察することができる。 	<p>小テスト ・単元テスト</p>	●			
						レポート・発表			●	●

後 期	9・10	9	第3章 2次関数		③ ・2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて考察しようとする。 ・2次関数の決定条件に興味・関心をもつ。 ・課題レポートを通して、2次関数の不思議な性質に興味をもち、考察しようとする。	ポートフォリオ			●
	10・11	15	第3章 2次関数	第3節 2次方程式と2次不等式 ・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式 因数分解や解の公式を利用し、2次方程式を解く。これらがグラフにおいてx軸との交点であることに留意する。またこの値が、2次不等式を解く上で必要なため、2次不等式の絶対値や平方根の意味を理解し、分母の有理化をする計算まで拡張する。平方根を利用した計算の中で、進学への意識を高めるために、大学入試の過去問などで出された問題にも挑戦する。	① 有理数と無理数の違い、および実数字について理解している。 ・循環小数を分数にまたその逆の計算ができる。 ・絶対値、平方根の意味を理解し、それらの計算ができる。 ② ・四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 ・実数を数直線上の点の座標としてとらえることができる。 ・平方根の性質、平方根の積、商などについて、一般化して考えられる。 ③ ・対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。 ・分母に根号を含む式について、分母を有理化することの意義を理解しようとする。 ・有限小数、循環小数が分数で表現できることに興味をもち、考察しようとする。	小テスト ・単元テスト	●	●	
					レポート・発表			●	
					ポートフォリオ				●
	11・12	11	第4章 図形と計量	第1節 三角比 ・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 正弦、余弦、正接の定義、意味を理解し、辺の比と角度の関係性に着目し、三角比の有用性を確認する。 既習内容の三平方の定理や、比が決まっている直角三角形の内容を用いて、決まった角度の三角比を定着するために、それらの値を図や関係性から自ら導き出せるようにする。	① ・直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。 ・三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察することができる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・座標を用いた三角比の定義を理解し、三角比の値から θ を求めることができる。 ② ・具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ・拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 ③ ・三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする。 ・「 $\tan \theta$ と直線の傾き」レポートに取り組み、 $\tan \theta$ と直線の傾きに興味をもち考察しようとする。	小テスト ・単元テスト	●		
					レポート・発表			●	●
					ポートフォリオ				●

後 期	11・12	13	<p>第4章 図形と計量</p> <p>第2節 三角形への応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積 ・空間図形への応用 <p>正弦定理と余弦定理を理解し、覚え、三角形の情報を引き出すことができるようにする。また、問題によって、これらの定理を使い分け、活用できるようにする。</p> <p>三角形の面積を求めるに際して、余弦定理を利用するときの手順や、ヘロンの公式の使い方を学習する。</p> <p>空間図形は着目する平面の部分を認識し、それらを重ね合わせていくことで、空間図形に必要な値を求められるようにする。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理を利用して、三角形の外接円の半径、辺の長さや角の大きさが求められる。 ・余弦定理を利用して、三角形の辺の長さ、角の大きさが求められる。 ・余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの要素の値を求めることができる。 ・三角比を用いた三角形の面積公式を理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積を、決定条件である2辺とその夾角または3辺から求めることができる。 ・正弦定理、余弦定理を空間図形の計量に応用できる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理・余弦定理の図形的意味を考察できる。 ・三角形の外接円、円周角と中心角の関係などから、正弦定理を導こうとする。 ・三平方の定理をもとに、余弦定理を導くことができる。 ・三角形の解法について興味を示し、$\sin 75^\circ$なども求めようとする。 ・「三角形の最大の角」レポートから、三角形の辺と角の大小関係に興味をもち、その事実を利用しようとする。 	<p>小テスト ・単元テスト</p> <p>● ●</p>
					<p>レポート・発表</p> <p>● ●</p>
					<p>ポートフォリオ</p> <p>●</p>
		12	1	後期中間試験	
	2・3	10	<p>第5章 データの分析</p> <p>データの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方 <p>さまざまな代表値の意味を理解し、それらを活用できるようにする。</p> <p>平均、分散、標準偏差を計算で求められるようにする。相関の正負や強弱を、相関係数を求めることから考察できるように学習する。</p> <p>仮説検定、外れ値の用語の意味まで理解できるようになる。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを度数分布表に整理することができる。 ・平均値、中央値、最頻値、四分位数、偏差、分散、標準偏差、相関係数などの定義とその意味を理解し、それらに関する公式などを用いて、それらの値を求めることができる。 ・散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 ・四分位範囲を求め、データの散らばりを比較することができる。 ・相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理解している。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「表計算ソフト」を用いて、実際のデータから平均値や分散、標準偏差、相関係数などを求め、相関に関する考察をおこなう。 	<p>小テスト ・単元テスト</p> <p>● ● ●</p>
					<p>レポート・発表</p> <p>● ●</p>
					<p>ポートフォリオ</p> <p>●</p>
	3	1	学年末試験		● ● ●

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画

科目名	数学A			教科書	新編 数学A (数研出版)
学年	1	単位数	2	必修	副教材 書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学A (数研出版)

学習目標	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育む。数と計算、図形・幾何の分野を中心に、小学校・中学校で学んだ数学の内容を、高校生の立場から再構成する。
学習の進め方	毎時間、学習内容に沿った授業プリントを配付して授業を進める。時に、クロムブック等を活用する。演習等に多くの時間をかけるようにする。グループワーク等を取り入れながら、理解を深め、時には発表する場も設けていく。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
	② 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
	③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
	4 1 6	12	第1章 場合の数と確率	第1節 場合の数 ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ 場合の数を求めるときの基本的な考え方について理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求める。	① ・樹形図を用いて、場合の数をきれいにかつ重複なく数えることができる。 ・和・積の法則それぞれの利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 ・順列、円順列、重複順列の公式を理解し、それを活用できる。 ・順列、円順列に条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 ・組合せの公式を理解し、利用することができる。 ・同じものを含む順列、重複組合せについて理解し、それらの総数を求めることができる。 ② ・条件が付く順列、円順列及び組合せを見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ・既知の順列の総数をもとにして、組合せの総数を求めることができる。 ・同じものを含む順列を、組合せで考察できる。	小テスト ・単元テスト	●		
						レポート・発表		●	●

前期	4 1 6	第1章 場合の数と確率		③ ・自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を利用して約数が列挙できることに興味を示す。 ・色の塗り分けの方法を数えるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心を示す。 ・組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 ・「完全順列」レポートへの取り組みを通して、完全順列について興味・関心をもち、その総数を求めようとする。	ポートフォリオ		●	●	
	6	1	前期中間試験			●	●	●	
	7 1 9	16	第1章 場合の数と確率	第2節 確率 ・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 ・期待値 確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求める。また、確率を事象の考察に活用する。独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求める。また、それを事象の考察に活用する。条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求める。また、それを事象の考察に活用する。	① ・試行の結果の事象を集合として表すことができる。 ・確率の定義から、その求め方がわかる。 ・確率の性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方がわかる。 ・確率の計算に集合を利用し、複雑な事象の確率を求めることができる。 ・独立試行及び反復試行の確率を公式などを用いて求めることができる。 ・確率の乗法定理を用いて2つの事象がともに起こる確率を求めることができる。 ・条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 ② ・試行の結果を集合と結びつけて、事柄の起こりやすさを数量的にとらえることができる。 ・集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 ・独立な試行及び反復試行の確率を、それぞれ具象的な例から直観的に考えることができる。 ③ ・降水確率の意味を調べ、統計的な確率と数学的な確率の違いに興味・関心をもつ。 ・条件付き確率や確率の乗法定理の考え方に興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。 ・「直感と確率」レポートを通して、感覚としての「当たりやすさ」と数学的な確率の違いについて考察しようとする。	小テスト ・単元テスト	●	●	
					レポート・発表		●	●	
					ポートフォリオ				●
9	1	前期期末試験			●	●	●		

後期	9 11	14	<p>第2章 図形の性質</p> <p>第1節 平面図形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円 ・作図 <p>平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明する。円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明する。基本的な図形の性質などをいろいろな図形の作図に活用する。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解している。 ・三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解している。 ・チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、三角形に現れる線分比を求める問題に活用できる。 ・三角形の存在条件や、辺の大小関係について理解している。 ・円周角の定理とその逆を理解している。 ・円に内接する四角形の性質を理解している。 ・円の接線の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・方べきの定理を理解している。 ・共通接線の定義を理解し、その長さの求め方がわかる。 ・中学校で学んだ垂線の作図を知っている。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の証明において、間接的な証明法である同一法が理解できる。 ・円と直線及び2つの円を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ・平行線と線分の比の性質を利用すると、内分点・外分点が作図できたり、b/aやabの長さをもつ線分が作図できることに気付く。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとする。 ・チェバの定理・メネラウスの定理に興味を示し、積極的に考察しようとする。 ・三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を、論理的に考察しようとする。 ・方べきの定理における$PA \cdot PB$の値の意味に興味・関心をもつ。 ・2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。 ・「円に内接する四角形と三角形」レポートをきっかけとするなど、円に内接する四角形の性質を用いて「接弦定理」の意味を考察しようとする。 	小テスト ・単元テスト	●		
					レポート・発表		●	●
					ポートフォリオ		●	●
	11 12	7	<p>第2節 空間図形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線と平面 ・空間図形と多面体 <p>多面体などに関する基本的な性質について理解し、それらを事象の考察に活用する。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 ・正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。 ・正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求めることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察できる。 	小テスト ・単元テスト	●		
					レポート・発表		●	

後期	11 1 12	第2章 図形の性質		③ ・三垂線の定理について関心をもち、その意味を理解しようとする。 ・「オイラーの多面体定理」がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べてみようとする。 ・準正多面体と正多面体の頂点を切り取ってできる多面体の関係について考察しようとする。 ・本章で学んだ内容に関する課題について、主体的に学習し、数学のよさを認識する。	ポートフォリオ			●
	12	1	後期中間試験			●	●	●
	1 1 3	18	第3章 数学と人間活動	<p>数学と人間活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・最大公約数・最小公倍数 ・整数の割り算 ・ユークリッドの互除法 ・1次不定方程式 ・記数法 ・座標の考え方 ・ゲーム・パズルの中の数学 <p>整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現する。</p> <p>整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求める。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求める。二進法などの仕組みや分数が有限小数又は循環小数で表される仕組みを理解し、整数の性質を事象の考察に活用する。</p> <p>整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求める。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求める。二進法などの仕組みや分数が有限小数又は循環小数で表される仕組みを理解し、整数の性質を事象の考察に活用する。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然数の素因数分解を求めることができる。 ・自然数の正の約数やその個数を求めるのに、素因数分解が利用できることを理解している。 ・2次の不定方程式を解くことができる。 ・素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 ・2つの整数が互いに素であるかどうかを判別できる。 ・整数をある正の整数で割った余りで分類して、簡単な整数の性質を証明することができる。 <p>①(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 ・互除法を利用して、$ax+by=c$を満たす整数x, yの組を求めることができる。 ・係数が小さい場合の1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 ・循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表すことができる。 ・分数を小数で表したとき、小数第n位の数字を求めることができる。 ・位取り記数法、10進法、2進法、n進法について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平方数になる条件を、素因数分解の結果から考察することができる。 ・2数の最小公倍数は2数の素因数のすべてを因数とするとことを理解し、それを利用して問題を考察することができる。 ・最大公約数と最小公倍数に成り立つ性質を利用して、2数の最大公約数と最小公倍数が既知のときにその2数を求めることができる。 	<p>小テスト</p> <p>・単元テスト</p>	●	
					レポート・発表		●	●

後 期	1 1 3	第3章 数学と人間活動	②(続き) ・整数の和・差・積と割り算の余りの関係について理解し,それを利用した問題を解くことができる。 ・整数に関する問題を,1次不定方程式に帰着させることができ,問題を解くことができる。 ・分数が整数,有限小数,循環小数のいずれかで表される理由を,割り算の余りによって考察することができる。 ③ ・整数の範囲で約数を考えることで,2次の不定方程式の整数解が求められることに興味関心をもつ。 ・素因数分解をしなくても,互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。 ・互除法を利用して, $ax+by=c$ を満たす整数 x, y の組を求めるとき,係数を文字で置き換えて計算する方法に興味をもち,積極的に活用しようとする。 ・以下のようなレポートに取り組むことを通して,それぞれの態度がみられる。 「完全数」:偶数の完全数をもつ性質について興味をもち,考察しようとする。 「整数の性質を利用した暗号」:普段利用している整数の性質を利用した暗号の仕組みに興味をもち,その性質を考察しようとする。 「鳩の巣原理」:鳩の巣原理を利用して証明する方法に興味をもち,積極的に活用しようとする。	ポートフォリオ	●	●
		3	1	学年末試験	●	●

2024年度 シラバス・年間指導計画

科目名	科学と人間生活				教科書	科学と人間生活（東京書籍）
学年	1	単位数	2	必修	副教材	新課程 ニューサポート 科学と人間生活（東京書籍）

学習目標	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な基本的技能を身につける。自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。					
学習の進め方	プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。授業は講義、ペアワーク、グループワーク、ワークシート、実験、レポート作成、発表を通じて進めます。					
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度					
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。 ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりに対して、正しい知識を理解し、深めようとしている。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとしている。 				
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。結果を基に、事象を科学的に考察し、導き出した結論を正確に表現することができる。 ・観察・実験などを行い、ワークシート レポートを作成する。自然の中に問題を見出し、探究する過程を通して、問題を科学的に考察し、導き出した答えを正確に表現することができる。 				
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・理科に関わる諸現象について、日常生活で見られる課題について問題点を見出し、主体的に探究し、解決しようとしている。 				

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション	・授業の進め方や評価方法などについて					
			3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用 1節 熱とは何か A 原子や分子の熱運動	<ul style="list-style-type: none"> ・温度による水の状態変化をもとに、温度による物質の状態と原子や分子の動きとの関連を見出す。 ・分子の運動の様子を観察する。 ・原子や分子の熱運動と温度の関係について理解し、説明できるようになる。 ・セ氏温度や絶対温度について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・原子や分子の熱運動の激しさと温度の関係について理解している。 ・温度の意味や表し方について理解している。 ・熱平衡や熱量の保存、比熱について理解している。 ・熱伝導や対流、放射とそれらの性質の利用について人間生活と関連付けながら理解している。 	レポート	●	●	●
		B 熱容量と比熱	<ul style="list-style-type: none"> ・熱平衡、熱量、熱容量について理解する。 ・水の比熱と人間生活との関わりについての理解を深める。 ・熱量の保存について理解し、説明できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に留意して実験を行うことができる。 ・実験結果を適切に記録することができる。 ・諸エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解している。 	ポートフォリオ			●	
	2	C 熱の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・熱の伝わり方（熱伝導・対流・放射）について理解する。 ・熱の伝わり方と人間生活の関わりについて考え、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱機関と熱効率、熱現象の可逆変化と不可逆変化について理解している。 	小テスト	●	●		
	5	1							

前期	5	2	2節 エネルギーの利用と私たちの暮らし A 力学的エネルギーと熱エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解し、熱現象とエネルギーとの関係について説明できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 熱の性質、エネルギーの変換と保存、有効利用について、日常生活と関連付けながら理解している。 ②思考・判断・表現 	レポート	●	●	●
		2	B ほかのエネルギーから熱エネルギーへ	<ul style="list-style-type: none"> 化学エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解する。 発熱反応と吸熱反応の実験を行い、化学変化による発熱と吸熱を確かめる。 電気エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験をもとに、温度による物質の状態変化に問題を見出し、表現している。 実験結果を科学的に考察し、物質による温まりやすさの違いを表現することができる。 熱の発生と温度上昇の仕組みについて考察し、表現している。 	ポートフォリオ			
		2	C 熱エネルギーから仕事への変換	<ul style="list-style-type: none"> 熱機関と熱効率について理解するとともに、熱機関の熱効率とエネルギーの有効利用について考える。 熱現象の可逆変化と不可逆変化について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組む態度 実験結果の比較やグループワークなどを通して、物質による温まりやすさの違いを見出そうとしている。 	ポートフォリオ			●
		4	D エネルギーの有効利用	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの有効利用に興味をもち、さまざまな事例を基に理解を深める。 太陽エネルギーの特徴について考え、太陽光発電などへの理解を深める。 持続可能な社会の実現に向けエネルギー利用について調べ、科学技術のあり方について判断に必要な態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験を能動的に行っている。 日常生活における熱伝導や対流、放射の利用について考えようとしている。 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術の活用や人間生活との関わりについて、多面的に考えようとしている。 エネルギーの利用と人間社会の関わりについて主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	小テスト	●	●	
		6	1	前期中間試験				●	●
	6	2	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 1節 太陽と月がもたらすリズム A 太陽と月がつくる暦	<ul style="list-style-type: none"> 同じ時刻に太陽や月が見える方位は日によって変化するのかを考え、太陽や月の日周運動について問題を見いだす。 地球の自転と公転によって、1日や1年が定義されていることを理解する。 月の見え方とひと月、暦の関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 時間単位について、月や地球の運動と関連付けながら理解している。 データを正しく整理することができる。 潮の満ち干と月の引力の関係について理解している。 太陽、地球、月の位置関係と潮位の変動の周期性を関連付けて理解している。 	レポート	●	●	●
		2	B 海水面の変動と塩の満ち干をもたらす力	<ul style="list-style-type: none"> 潮位のデータを基に、潮位の変化の規則性について考察する。 潮の満ち干と月の引力との関係について考え、理解し、表現できるようになる。 太陽と地球、月の位置関係と潮位の変動の周期性について理解する。 潮位の変動と災害の関連について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ②思考・判断・表現 データ変動を基に科学的に考察して、変化の周期性を見出し、表現することができる。 観察や実験を能動的に行っている。 潮の満ち干と月の引力との関係について、表現することができる。 	ポートフォリオ			●
		7	2節 太陽が動かす大気と水 A 太陽の放射エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 太陽のエネルギー源、太陽活動、放射エネルギーについて理解する。 太陽光発電の利点と課題について理解する。 太陽放射の熱収支について理解する。 温室効果の仕組みを理解し、表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 観察や実験操作を正しく行うことができる。 太陽の特徴と地球に及ぼす影響について理解している。 ②思考・判断・表現 観察や実験の結果に対して、科学的な視点から考察し、正しく表現することができる。 	レポート	●	●	●
		8	B 太陽がつくる大気と海洋の循環	<ul style="list-style-type: none"> 大気構造と対流について理解する。 緯度の違いと自転による影響について理解し、表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽が地球にもたらす影響と人間生活を関連付けて考察することができる。 	ポートフォリオ			●

前期	8	2	・大気と海水の移動と気候が形成されることを関連付けて理解し、表現できるようにする。	③主体的に学習する態度 ・観察や実験を能動的に行っている。 ・太陽がもたらす人間生活の影響について主体的に関わり、継続的な学習をしている。	小テスト	●	●		
		4	C 1年を通じた大気の運動と気象災害 ・地球の公転と自転軸の傾きによって季節が生じることを理解する。 ・気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係を理解する。 ・熱帯低気圧の経路図を基に、台風の発生場所と移動経路の特徴について考察し、表現する。						
	9	1	前期期末試験				●	●	●
後期	9	1	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1節 ヒトの視覚と光による影響 A 視覚とは何か	・光の受容から視覚がしよるまでの過程を理解し説明できるようにする。 ・錯覚と錯視について理解する。	①知識・理解 ・視覚が生じる仕組みについて理解している。 ・観察や実習について、スケッチや文章で適切に記録している。	レポート	●	●	●
		2	B 眼の構造とはたらき	・眼の構造を理解する。 ・眼の遠近調節の仕組みを理解し、説明できるようにする。	②思考・判断・表現 ・視覚が生じる仕組みや目のはたらきについて、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・体内時計を維持する規則正しい生活の重要性について、日常生活と関連付けながら考えようとしている。 ・健康の維持と人間生活の影響について主体的に関わり、継続的な学習をしている。 ・観察や実験を能動的に行っている。	ポートフォリオ			●
		2	2節 血糖濃度を調節するしくみ A 血糖とは何か	・炭水化物の消化と吸収のしくみについて理解する。 ・体内でのグルコースの流れについて理解し、説明できるようにする。 ・血糖濃度が変化したときの体への影響を考える。	①知識・技能 ・炭水化物の消化と吸収について理解している。 ・吸収されたグルコースの流れについて理解している。 ・ホルモンによる血糖濃度の調節の仕組みについて理解している。	レポート	●	●	●
		2	B 血糖濃度の調節	・血糖濃度を調節するホルモンの働きについて理解する。 ・血糖濃度を調節するためのしくみを理解し、説明できるようにする。	②思考・判断・表現 ・体内での炭水化物の利用について表現することができる。 ・血糖濃度に対するホルモンののはたらきについて、データを基に科学的に考察し、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・観察や実験を能動的に行っている。 ・血糖と日常生活について、生活習慣の重要性と関連付けながら考えようとしている。 ・健康の維持と人間生活の影響について主体的に関わり、継続的な学習をしている。	ポートフォリオ			●
		10	2	3節 体を守る免疫のしくみ A 感染症から体を守るしくみ	・免疫とリンパ球のはたらきについて理解する。 ・抗原抗体反応の仕組みと特徴について理解し、説明できるようにする。 ・免疫記憶について理解し、説明できるようにする。 ・免疫記憶の利点について考察し、表現できるようにする。	①知識・技能 ・抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。 ・予防接種による感染症予防の仕組みやアレルギーについて理解している。 ②思考・判断・表現 ・データを基に科学的に考察し、表現している。 ・予防接種の効果について、データ	レポート	●	●
						ポートフォリオ			●

		3	B 免疫の仕組みと日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の仕組みについて理解し、説明できるようになる。 ・アレルギー反応について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> を基に科学的に考察し、表現している。 ③主体的に学習する態度 ・観察や実験を能動的に行っている。 ・データを基に、科学的に考察し、日常生活と関連付けて表現しようとしている。 ・健康の維持と人間生活の影響について主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	小テスト	●	●	
11		2	4節 生命現象の大本となる遺伝子のはたらき A 遺伝子と DNA	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造について理解する。 ・DNAと遺伝子の関係について理解し、表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・安全に留意して実験を行うことができる。 ・DNAと遺伝子の関係について理解している。 ・体内に存在するタンパク質について、その重要性について理解している。 ・転写と翻訳について理解している。 ②思考・判断・表現 ・DNAと遺伝子の関係について説明することができる。 ・タンパク質合成の過程について説明することができる。 ③主体的に学習する態度 ・転写と翻訳を経てタンパク質が合成される過程について、自らの言葉で説明しようとしている。 ・遺伝子と人間生活の関わりについて主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	レポート	●	●	●
		2	B DNAの遺伝情報からタンパク質へ	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質の構造とアミノ酸の配列について理解する。 ・タンパク質合成の過程について考え、理解する。 ・転写と翻訳について、自分なりの表現で説明する。 		ポートフォリオ			●
		2	C 体内ではたらくタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> ・体内に存在するタンパク質について、はたらきを知る。 		小テスト	●	●	
12	1	後期中間試験					●	●	●
12		2	2 編 物質の科学 1章 材料とその再利用 1節 リサイクルとは何か A 資源の再利用と3R	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会を形成するために、3Rについて理解する。 ・リサイクルと人間生活の関わりについて考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・リサイクルの種類について理解している。 ②思考・判断・表現 ・リサイクルと人間生活を関連付けて考察することができる。 ③主体的に学習する態度 ・リサイクルによる人間生活の影響について主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●
		2	2節 金属の性質とその再利用 A 金属の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の性質について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・観察や実験を安全に行うことができる。 ・金属の特徴について理解している。 ②思考・判断・表現 ・観察や実験の結果を基に、科学的な視点から考察し、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・観察や実験を能動的に行っている。 ・金属の性質や扱いに主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	レポート	●	●	●
2	B 異なる金属の区別	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の分類について理解する。 							
1		2	C 金属の精錬と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の精錬について理解し、説明できるようになる。 ・金属を長期間利用する方法について考え、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ③主体的に学習する態度 ・観察や実験を能動的に行っている。 ・金属の性質や扱いに主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	ポートフォリオ			●
			D 金属の再生利用	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の再生利用について理解する。 ・金属の再生利用について、人間生活と関連付けて考え、表現する。 					
2		2	3節 プラスチックの性質とその再利用 A プラスチックの性質と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの性質について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・観察や実験を安全に行うことができる。 ・プラスチックの特徴について理解している。 ②思考・判断・表現 ・観察や実験の結果を基に、科学的な視点から考察し、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・観察や実験を能動的に行っている。 ・プラスチックの性質や扱いに主体的に関わり、継続的な学習をしている。 	レポート	●	●	●
			3	B プラスチックはどのようにつくるのか		<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの原料について理解する。 ・プラスチックと人間生活の関連性を理解する。 			
		3	C プラスチックの再生利用	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会を形成するために、リサイクルの重要性について理解し、表現できるようになる。 ・プラスチックの利用方法と諸問題の関わりについて考える。 		ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●	
3	1	後期期末試験					●	●	●

科目名	体育			教科書	『新高等保健体育』 大修館書店
学年	1	単位数	2	必修	副教材

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。				
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技種目を行うことや勝敗を競うだけが運動ではありません。運動に対し苦手意識を持っていたり嫌いと思っている人も、新たな気持ちで授業に臨んでください。 ○ 運動に対する苦手意識や、競技に対する得意不得意に関わらず、新たな仲間と協力や競い合いを通し、コミュニケーション能力の向上を図ってください。 ○ 与えられた運動をただ行うだけではなく、自分や仲間の課題がどこにあるのか、課題解決のためには何をどのようにすればいいのかなど、積極的に課題の発見や解決に取り組んでください。 ○ 体育の「学力」とは、基礎的な知識・技能を基に意欲をもって「運動を実践する力」のことを指します。普段からの生活から運動の実践に心がけてください。 				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。			
	②	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。			
	③	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価						
							①	②	③				
前期	4	1	オリエンテーション										
			2	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動計画を立て取り組むこと。仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行う。のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う。柔軟性を高める運動をする。	○知識 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	行動観察 正しい運動方法の理解と行い方	●					
						○思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。					行動観察 体づくり運動の実践	●	●
			○主体的に学習に取り組む態度 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	整列・挨拶 準備・後片付け			●						
	5	8	陸上 体力測定	各種目を測定することにより、生徒自身が自己の体力を把握し、健康の保持・増進、体力向上への関心意欲を高めるために行う。 ○測定項目 ・立ち幅跳び・握力測定・長座体前屈・上体起こし、反復横跳び・50m走・ボール投げ・持久走	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。	行動観察 正しい測定方法の理解	●						
					○技能 短距離走では中間走の高いスピードを維持して速く走ることができる。長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。立ち幅跳びでは力強い踏み切りから着地までの動きを滑らかにして跳ぶことができる。					記録の測定 練習計画の作成	●	●	●
					○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。					行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●
			○主体的に学習に取り組む態度 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。										
	6	8	球技 サッカー ※雨天時： フットサル	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。役割に適した行動を瞬時に判断し選択するとともに、局面で変わる攻防を展開するため基礎的な技術の習得と洞察力を養う。作戦や状況に応じて仲間と連携し、空間を作り出す動きを身につける。 ・シュート・パス・ドリブル・フェイント・基本的なルール	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	技術についての理解 と練習法の選択 ゲームルールの理解 他のゲーム観察	●						
					○技能 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。					単元実技テスト 他のゲーム観察 試合状況	●	●	
					○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。					行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●
			○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。										

7	球技 ソフトボール	ベースボール型球技では、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボールやバットの操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができるようにする。 ・キャッチボール・バッティング練習を通して技能を高める。	○知識○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
				単元実技テスト 試合状況	●	●	●
				行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●
8	球技 テニス ※雨天時： 卓球 スポンジテニス	安定したボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やペアの持っている能力に応じて作戦をたて、相手の空いているスペースに打ち返し、ゲームを展開できるようにする。 ・サーブ・フォアハンド、バックハンド・ボレー・スマッシュ・基本的なルール 役割に応じたボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やペアの持っている能力に応じて作戦を立て、相手の空いているスペースに打ち返し、ゲームを展開できるようにする。 ・スマッシュの技術・サーブ（変化を伴うサーブ）・フォアハンド、バックハンドの基本動作・フットワーク・基本的なルール	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 技術についての理解と練習方法	●		
				単元実技テスト 他のゲーム観察 試合状況	●	●	●
				行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●
9	球技 バレーボール	役割に応じたボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やチームメイトの持っている能力に応じて作戦を立て、相手の空いているスペースに打ち、ゲームを展開できるようにする。 ・サーブ（変化を伴うサーブ）・レシーブ・トス・スパイクの基本動作・フットワーク・基本的なルール	○知識 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 技術についての理解と練習方法			
				単元実技テスト 他のゲーム観察 試合状況		●	●
				行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●

10	8	バドミントン	<p>ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら個人やペアの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。個人やペアの持っている能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。役割に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。</p> <p>・サービス・ドロップ・クリア・スマッシュ</p>	<p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
					単元実技テスト 試合状況	●	●	●
					行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け		●	●
12	8	バスケットボール	<p>役割に応じたボール操作や、役割に適した行動を瞬時に判断し選択するとともに、局面で変わる攻防を展開するため基礎的な技術の習得と洞察力を養う。</p> <p>種目の楽しさを味わいながら個人やチームの能力を把握し、よりスムーズなゲームを展開できるよう工夫する。</p> <p>個人やチームの持っている能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。</p> <p>・基本的なルール・シュート・パス・ドリブル・フェイント</p>	<p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
					単元実技テスト 試合状況		●	●
					行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●
11	8	器械運動 跳び箱	<p>特性に応じて多くの「技」がある。これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わう。技がよりよくできるよう、学習に主体的に取り組む、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、新たに挑戦する技の名称や行い方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>○知識 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。</p> <p>○技能 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</p> <p>○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
					単元実技テスト 記録会		●	●
					行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●

2	3	6	体育理論	(1)スポーツの発祥と発展について	<p>○知識 (1)スポーツの発祥と発展について理解している。</p> <p>○思考・判断・表現 (1) スポーツの発祥と発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度体 (1) スポーツの発祥と発展についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	知識確認テスト	●		
						レポート提出		●	●

2024 年度 保健体育科 シラバス・年間指導計画 (主任:中里 祐也 (印)) (作成者:船水 崇杜 (印))

科目名	保健			教科書	新高等保健体育 大修館書店
学年	I	単位数	I	必修	副教材

学習目標	<p>我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康課題や健康の考え方が変化するとともに、様々な健康への対策、健康増進の在り方が求められている。このことから、健康を保持増進するためには、一人ひとりが健康に関して深い認識をもち、自らに健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解する。また、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であることを理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。</p>
	<p>個人及び社会生活において、様々な事故や災害が発生している。そうした事故や災害のない社会にしていくためには、事故の発生防止や傷害などの軽減が必要となる。このことから、事故の発生には人による要因と環境による要因があることを踏まえて、個人的な取組と社会的な取組が求められていることを理解する。また、危険の予測やその回避の方法を考えることができるようにする。</p>
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業は一斉授業もありますが、グループワークやペアワークを中心に行います。 ● 授業の中で出てくる疑問について、教科書や Chromebook を用いて調べ、考えたことや気づいたことをグループワーク・ペアワークで共有し、認識を深めていきます。 ● 単元や章ごとに小テストを行い、知識の定着を図ります。 ● 発表やレポートなどのアウトプット作業もあります。
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>① 現代社会と健康、安全な社会生活について、個人だけでなく社会生活について基礎的な事項を理解できるようにし、内容に関わる技能を身につけている。</p>
	<p>② 現代社会と健康、安全な社会生活について、健康に関わる課題を発見・解決を目指して思考し、適切な選択を判断、それらを他者に表現できるようにする。</p>
	<p>③ 現代社会と健康、安全な社会生活について、自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身につけようとしている。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価									
							①	②	③							
前期	4	1	オリエンテーション	保健の学習内容および学習方法について												
										4	1. 現代社会と健康 (ア) 健康の考え方	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを学ぶ。 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを学ぶ。	①知識・技能 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・主体要因と、環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・我が国の健康指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。	授業プリント レポート	●	●
	5	1. 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組および社会的な対策を行う必要があることを学ぶ。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。	②思考・判断・表現 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ③主体的に学習に取り組む態度 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	行動観察	●										
								6	4	1. 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組および社会的な対策を行う必要があることを学ぶ。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。	①知識・技能 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	授業プリント レポート	●	●	

				<p>・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、他や社会の課題を発見している。</p> <p>・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。</p> <p>・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	単元テスト 授業プリント	●	●	
					行動観察			●
	7	1. 現代社会と健康(ウ)生活習慣病などの予防と回復	<p>健康の保持増進と生活習慣病などの予防には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、社会的な対策が必要であることを学ぶ。</p> <p>現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	授業プリント レポート	●	●	
	7				単元テスト 授業プリント	●	●	
					行動観察			●
8	5	1. 現代社会と健康(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	<p>喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを学ぶ。</p> <p>現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の</p>	授業プリント レポート	●	●	

9		法を思考し判断するとともに、それらを表現する。	<p>健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行っていないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>単元テスト 授業プリント</p> <p>● ●</p> <p>行動観察</p> <p>●</p>			
10	4	<p>1. 現代社会と健康(オ)精神疾患の予防と回復</p> <p>精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であること。また、疾病の早期発見および社会的な対策が必要であること。</p> <p>現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p>	<p>①知識・技能 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>授業プリント レポート</p> <p>● ●</p> <p>単元テスト 授業プリント</p> <p>● ●</p> <p>行動観察</p> <p>●</p>			
9	1	前期期末考査(授業内テスト)					● ● ●

11	4	2. 安全な社会生活 (ア) 安全な社会づくり	安全な社会づくりには、環境の整備とそれに適した個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。	①知識・技能 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思考・判断・表現 ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	授業プリント レポート	●	●	
	12			単元テスト 授業プリント	●	●		
				行動観察			●	
1	4	2. 安全な社会生活 (イ) 応急手当	適切な応急手当は、障害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。 心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うこと。	①知識・技能 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに適した体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 ②思考・判断・表現 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社	授業プリント レポート	●	●	
	2			単元テスト 授業プリント	●	●		
	3				行動観察			●

				<p>会の課題を発見している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 				
	3	1	後期期末考査			●	●	●

2024 年度 芸術科 シラバス・年間指導計画

科目名	音楽 I			教科書	『Tutti +』 教育出版
学年	I	単位数	I	必修	副教材 高校生のための音楽研究ノート(教芸)、 アルトリコーダー、プリント等

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。
学習の進め方	<p>授業は主に、歌唱・リコーダー・音楽鑑賞・楽典とソルフェージュを中心とします。授業時に次の予告をしますので、それに沿って準備をしてください。教科書以外にプリントも随時配布しますので、必要であればファイルなどを各自用意してください。各自のこれまでの音楽の学びの中で進度はそれぞれだと思えます。特に実技に関しては上手下手で判断するのではなく、それぞれの成長具合を見ますので、目標を持って各自取り組んでください。</p> <p>芸術科としての音楽を学びます。「音楽 I」では、生涯にわたって主体的に音楽を愛好していこうとする心情の育成を重視したいと思えます。そのためには一人一人が個性を生かして音楽の幅広い活動を行い、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、そこに価値を見出すことのできる完成を高めていくことが重要です。また中学校音楽科の学習を踏まえ、思いやいとをもって表現したり味わって聴いたりする力を深化させていきましょう。</p> <p>特に、日ごろから親しんでいる音楽のみを経験するのではなく、我が国及び諸外国の様々な音楽を授業の中で幅広く学習することで、音楽の文化的・歴史的背景、作曲者及び演奏者による表現の特徴、音楽の伝承方法、表現方法、様式など多様な観点から固有の価値について捉えられるようになり、音楽の多様性を理解し、音楽的視野を広げて、音楽文化についての理解が深めていくことができます。</p> <p>これらの力が、総合的に作用しあうことで豊かな情操が育まれ、望ましい人格の完成が目ざれると思えます。</p>
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	② 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
	③ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価基準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4 5 6 7 8	I	オリエンテーション						
			・歌唱 校歌/聖歌/優しいあの子/夏の思い出 ヴォイストレーニング	・校歌を各自のパートで歌い合唱を行う。 ・1年間で歌う聖歌をマスターする。 ・曲にふさわしい発声などの技能を身につけるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞とのかかわりを理解し、表現を工夫して豊かに歌う。	・曲にふさわしい発声、言葉や発音、身体の使い方などに留意して歌い表現に必要な技能を身に付けることができる ・歌ったり互いに聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞とのかかわりを理解することができる。 ・イメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができる。	・授業への取り組みの様子 ・学習プリント ・実技試験	●	●	●

		<ul style="list-style-type: none"> ・楽典 楽譜について～音符と音名 ・ソルフェージュ 	楽譜の基本的な知識としての音符の読み書きを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・五線の仕組みを知り、音階を書くことができるか。高音部譜表と低音部譜表の関係を理解できるか。 ・音符から音を想像し、音程の感覚を身につけることにより、歌唱でのより正確さを求めることにより、独唱や合唱の演奏のより良い響きを追求することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの様子 ・ノート、学習プリント等 	●	●	●
	9	前期期末考査						
後期	10 11	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 Vivardi“四季” 	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価と根拠について考え、音楽の良さを自ら味わって聴く	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞することができる。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて意見を交換し理解を深めることができる。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べあうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・学習プリント ・実技試験 	●	●	●
		<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー フレール・ジャック/ 空と大地/メヌエット 	リコーダーの奏法を身につけるとともに曲想と楽器の音色や奏法との関りを理解し、表現を工夫して演奏する。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につけているか。 ・演奏したり互いに聴きあったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関りを理解する。 ・イメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・学習プリント ・実技試験 	●	●	●
	12	後期中間考査						
	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルを楽しもう Wind from the south 	体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫しながら表したいイメージをもって演奏する。	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムを正確に捉えるとともに、その重なり合いやつながりを意識して演奏できる。 ・曲想にあった奏法やパフォーマンスなどの技能を身につけ、表現を工夫する。 ・音色を工夫したり、曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見交換したりしながら主体的に演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・ポートフォリオ 	●	●	●
		<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を楽しもう 卒業式の歌など 	ハーモニーを感じ取りながら合唱する。 正確な音程やリズムをパートに分かれて練習し、ハーモニーを楽しみながらタイミングを合わせたり、音のバランスを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。 ・各パートの役割を理解するとともに全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏できている。 ・共通のイメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み 	●	●	●

2024 年度 英語科 シラバス・年間指導計画

科目名	英語コミュニケーション I			教科書	『Big Dipper』 数研出版
学年	I	単位数	4	必修	副教材

学習目標	<p>五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにするとともに、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
学習の進め方	<p>授業の内容は、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を使って、英語で情報を受け、発することを主眼に置く。教科書の各レッスンでは、コミュニケーションを支える文法・語法を学ぶと同時に、本文を読んだり、聞いたりして、書き手又は話し手の意向などの理解を深める。本文の内容の応用としてさまざまなコミュニケーション活動を通して、英語を発信することの面白さを味わい、積極的に英語を話そうとする態度を身につけていくことを目指す。このような活動から英語技能認定試験や GTEC などの外部試験にもチャレンジしていく。</p> <p>週 4 回ある授業を、日本人教諭と ALT との授業(週3回)では、教科書を中心に活用して授業を行う。週 1 回、学年合同で、実用英語技能検定や GTEC などの外部試験の演習を行う。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「英語の特徴やきまりに関する事項」を理解している状況进行评估する。 ● 話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている状況进行评估する。 ● 情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている状況进行评估する。
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えている状況进行评估する。 ● 情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている状況进行评估する。
	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況进行评估する。 ● 話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、必要な情報を聞き取ったり読み取ったり、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えようとしていたりしている状況进行评估する。 ● 情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている状況进行评估する。 ● 自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしているかを評価する。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	1	オリエンテーション							
			15	LESSON 1 Have a Good Day with a Good Breakfast	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(朝食の重要性など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②朝食の重要性について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		
				単元テスト ALTと内容に関する質疑応答テスト	○	●	○			
	5	4	LESSON 2 A Mascot with a Mission	各 Part の語句や文法事項を理解した上で、本文の内容(ご当地マスコット(ゆるキャラ®)の役割など)について、リスニングを通して理解することができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②ゆるキャラ®の役割や活動について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を聞き取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
			単元テスト ALTとの会話によるリスニングテスト	○	●	○				
	6	4	GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○	
			前期中間考査は実施しません							
	6	6	LESSON 3 Two Kinds of Leadership	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(2種類のリーダーシップなど)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②異なる2つのリーダーシップのタイプ(サル型/ゴリラ型)や指導者の適性について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
			単元テスト ALTと内容に関する質疑応答テスト	○	●	○				
	前期中間評価									
7	10	LESSON 4 Older Sports and Newer Sports	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(自分の好きなスポーツなど)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②マラソン、バスケットボール、スポーツクライミング、e スポーツについて、それらの歴史や魅力について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●				
		単元テスト ALTに自分でリサーチした内容を説明	●		○					
8	10	LESSON 5 AI Meets the Arts	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(AIやAIによる芸術など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②AIやAIによる芸術について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●				
		単元テスト ALTに自分でリサーチした内容を説明	○	●	○					
9	1	GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○		
		前期末考査						●	●	

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価				
							①	②	③		
後期	9	6	LESSON 6 What Is Happiness?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 各 Part の本文の内容を理解し、正しい発音で音読できる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ①本文の内容を理解した上で、正しい発音で相手に伝わるように音読することができる。 ③コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●				
			単元テスト 発音音読テスト	●		○					
		10	10	LESSON 7 The Maldives: A Dream Destination?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(人気の観光地が抱える問題など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②人気の観光地の抱える問題について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
	単元テスト ALT に自分でリサーチした内容を説明	○	●	○							
	11	6	LESSON 8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ①世界で活躍する特殊メイクアップアーティストの Kazu Hiro がどのようにして夢をかなえたかについて、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取る。 ③コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●				
						課題の提出	●		○		
	4	GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○			
		後期中間考査は実施しません									
	1	12	6	LESSON 9 From Recycle to Upcycle	各 Part の語句や文法事項を理解した上で、本文の内容(モットイナイ精神やアップサイクル商品など)について、リスニングを通して理解することができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②ゴミの再利用の新しい形であるアップサイクルについて、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
							単元テスト ALT との会話によるリスニングテスト	○	●	○	
		後期中間評価									
		2	15	LESSON 10 Diversity at Japanese Companies	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(日本企業の雇用や、働きかたなど)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②雇用の多様性について、理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
単元テスト ALT と内容に関する質疑応答テスト							○	●	○		
単元テスト ALT に自分でリサーチした内容を説明	○	●	○								
4	GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○				
3	1	学年末				●	●				

2024年度 英語科 シラバス・年間指導計画

科目名	論理・表現 I			教科書	『 EARTHRISE English Logic and Expression I Standard』 数研出版
学年	I	単位数	2	学年	I
					単位数

学習目標	この授業では、スピーキング(スピーチ、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション)、ライティングを中心に、論理の構成や展開を工夫して伝える又は伝え合うことを目標とする。身近な話題をテーマに、様々な立場の考えや意見を踏まえて、自らの考えを適切に表現することを目指す。				
学習の進め方	まず、教科書に掲載されている単語やフレーズなどの表現を使いながら、自分の意見を作るためにライティングの練習をします。その後、ディスカッションやディベートを通じて、自分の考えをまとめます。そして、最後に自分自身の力でプレゼンテーションを行うことを目指していきます。そのためにも、ネイティブの先生とのコミュニケーションを積極的にとり、ICT を活用することで、論理的な考え方や表現力を向上させる必要があります。 このような活動を通じて、CEFR のレベルを上げていきましょう。				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	<ul style="list-style-type: none"> ●各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができ、クラスで発表したり、会話のロールプレイをしたり、インタビューをする技能を身に付けているかを評価する。 ●各文法事項の用法を理解し、様々な状況での文章を書く技能を身に付けているかを評価する。 ●各論題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けているかを評価する。 			
	②	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けているかを評価する。 			
	③	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているかを評価する。 ●自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしているかを評価する。 			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価				
							①	②	③		
前期	4	1	オリエンテーション								
		4	Lesson 1 Introduce yourself to your class	<S+V+C>と<S+V+O>意味・用法 ■テーマ■ What is an effective way of making friends?	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「友だちを作る効果的な方法は何か」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	○				
	5	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●				
		4	Lesson 2 How do you spend your weekend?	動詞の現在形・過去形・現在進行形(未来を表す)の意味と用法 ■テーマ■ Children spend too much time online.	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「子供たちはインターネットの使用に時間を使いすぎている」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●				
						単元テスト スピーチ	○	●	●		
						単元テスト プレゼンテーション	○	●	○		
	6	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●				
		前期中間考査は実施しません									
		4	Lesson 3 Where did you go on vacation?	現在完了形の意味・用法 ■テーマ■ What kind of transportation do you like to use when you travel?	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「旅行をするときにはどの交通手段を使うのが好きか」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●				
						単元テスト ディスカッション	○	●	○		
		1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●				
		前期中間評価									
		3	Lesson 4 How can I get there?	can, may の意味・用法 must, have to の意味・用法 ■テーマ■ There should be more security cameras in public places.	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「公共の場所にはより多くの監視カメラが設置されるべきだ」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●				
						単元テスト スピーチ	○	●	○		
		7	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●			
			3	Lesson 5 Would you like to come with me?	would, could, may[might]の意味・用法 should have done と must have done の意味・用法 ■テーマ■ High school students should join a club	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「高校生はクラブに入るべきだ」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
						単元テスト プレゼンテーション	○	●	○		
	8	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●				
		3	Lesson 6 Something really Japanese	<be 動詞+過去分詞>(受動態)の意味・用法 ■テーマ■ What attracts tourists to Japan?	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「日本のどんな点が観光客を引きつけるのか」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●				
						単元テスト ディスカッション	○	●	○		
1		副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●					
1	前期末考査						●	●			
3	Lesson 7 Do you do any	to do(不定詞の名詞的用法・形容詞的用法)の意味・用法	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。	授業中の活動と課題提出	●						

		volunteer activities?	to do (不定詞の副詞的用法)の 意味・用法 ■テーマ■ All high schools should have a volunteer day once a week.	②「すべての高校において、ボラン ティア・デー(ボランティア活動を行う日) を設けるべきだ」というテーマに関し、自 分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認し ながら、積極的に取り組もうとしている。	単元テスト ライティング	○	●	○
9	前期期末評価							

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
後 期	10	3	Lesson 8 Let's enjoy school life!	<want+O+to do>や<see+O +do>などの意味・用法 <let+O+do>, <make+O+do> の意味・用法 ■テーマ■ What can you do to attract more people to your school festival?	①Key Expressions の言語材料(文 法)を理解している。 ②「学園祭により多くの人を集めるため に何ができるか」というテーマに関し、 自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しな がら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動 と課題提出	●			
			単元テスト スピーチ	○	●	○				
	11	3	Lesson 9 Are you eco- friendly?	doing (動名詞)の意味・用法 remember doing と remember to do の意味・用法 ■テーマ■ More and more people will take their own bags with them when they go shopping.	①Key Expressions の言語材料(文 法)を理解している。 ②「より多くの人買い物時にエコバ ッグを持ち歩くようになるだろう」とい うテーマに関し、自分の意見を理由と ともに述べ。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しな がら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動 と課題提出	●			
			単元テスト プレゼンテー ション	○	●	○				
	11	3	Lesson 10 What sports do you like?	doing/done (分詞)の限定用法 の意味・用法 doing/done (分詞)の叙述用法 の意味・用法 ■テーマ■ More Japanese athletes should play for teams abroad.	①Key Expressions の言語材料(文 法)を理解している。 ②「多くの日本人選手は海外のチ ームでプレイすべきだ」というテーマ に関し、自分の意見を理由とともに 述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認し ながら、積極的に取り組もうとしてい る。	授業中の活動 と課題提出	●			
			単元テスト ディスカッ ション	○	●	○				
	11	3	Lesson 11 That's new to me!	<see+O+doing>や<have+O +done>などの意味・用法 分詞構文の意味・用法 ■テーマ■ What are the best ways to stay healthy and reduce stress?	①Key Expressions の言語材料(文 法)を理解している。 ②「健康を維持し、ストレスを軽減す るための最善の方法は何か」という テーマに関し、自分の意見を理由と ともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認し ながら、積極的に取り組もうとしてい る。	授業中の活動 と課題提出	●			
			単元テスト ライティング	○	●	○				
	12	1	副教材 EARTHRISE ア スライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことが できている。	授業中の活動 と課題提出	●			
			後期中間考査は実施しません							
	12	1	副教材 EARTHRISE ア スライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことが できている。	授業中の活動 と課題提出	●			
			後期中間評価							
1	3	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most?	who, which, that (関係代名 詞)の意味・用法 関係代名詞の制限用法と非制限 用法の意味・用法 ■テーマ■ Artificial intelligence(AI) will be beneficial to society.	①Key Expressions の言語材料(文 法)を理解している。 ②「救急車の利用にお金を払うべき だ」という意見に対し、理由ととも に賛成・反対の立場の意見を述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認し ながら、積極的に取り組もうとしてい る。	授業中の活動 と課題提出	●				
		単元テスト スピーチ	○	●	○					
1	3	Lesson 13 I'm interested in	when, how (関係副詞)の意味・ 用法	①Key Expressions の言語材料(文 法)を理解している。	授業中の活動 と課題提出	●				

2	history	関係副詞の制限用法と非制限用法の意味・用法 ■テマー■ It is a good thing for a place to be selected as a World Heritage site.	②「世界遺産に選ばれることはその場所にとってよいことだ」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単元テスト プレゼンテーション	○	●	○
	3	Lesson 14 Various countries around the world	as ~ as, -er[more ~] than...の意味・用法 not as ~ as..., -est[most ~]の意味・用法 ■テマー■ Japanese high schools should organize school trips to foreign countries.	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「日本の高校は海外への修学旅行を企画すべきだ」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動 と課題提出	●	
					単元テスト ディスカッション	○	●
	3	Lesson 15 What job are you interested in?	仮定法過去(If S'+過去形 [were] ~, S would [could]...)の意味・用法 仮定法過去と仮定法過去完了(If S' had done ~, S would [could] have done...)の意味・用法 ■テマー■ More Japanese people will work abroad in the future.	①Key Expressions の言語材料(文法)を理解している。 ②「より多くの日本人が将来海外で働くだろう」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動 と課題提出	●	
単元テスト ライティング					○	●	○
1	後期期末考査				●	●	
学年末評価							

2024年度 情報科 シラバス・年間指導計画

科目名	情報 I			教科書	『情報 I』 日本文教出版
学年	I	単位数	2	必修	副教材

学習目標	情報社会の問題を発見・解決するための技法やメディアの発展によるコミュニケーションの変化・情報デザイン、プログラミングやシュミレーションの技法、情報通信ネットワークとデータの活用の技術を学び、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。
学習の進め方	IT教室で座学やパソコンを使う実習を行います。 毎時間教科書は必ず持ってきて下さい。 実習は、マイクロソフト社のワード、エクセル、パワーポイントを主に活用し、ワードでは、文字のスピード入力や各種書式の文書作成技術、エクセルでは表計算情報処理、パワーポイントでのプレゼンテーション(発表会)をします。情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できるように学びを深めます。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ・効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身につけているとともに, 情報社会と人との関わりについて理解している。
	② ・事象を情報とその結びつきの視点から捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
	③ ・情報社会との関わりについて考えながら, 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し, 自ら評価し改善しようとしている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						●
			3	序章 情報社会に生きるわたしたち 第1節 なぜ情報について学ぶのか 第2節 「情報 I」で学ぶこと 第3節 学習の前に確認しよう	・情報を学ぶ意義とは何か。情報を使って問題解決するために、情報やメディアをどのように活用すればよいか。	①ローマ字の表記を理解している。 ②授業内の課題に対して、真摯に取り組む姿勢が見られる。 ③「情報 I」を学ぶ意義を受け止め、授業内では積極的かつ意欲的に取り組む姿勢が見られる。	調べ学習	●	●
				第1章 情報社会の問題解決 第1節 情報の特性 第2節 メディアの特性 第3節 問題解決の考え方	・パソコンの電源の操作。 ・ワープロソフトを利用したタイピング。		実習取組	●	●
	5	6	パソコンの基本的操作 ワードを使ったタイピング練習			授業姿勢			●
			第1章 問題解決の考え方 第3節 法の重要性と意義 第4節 法の重要性と意義 第5節 法の重要性と意義 第6節 情報社会と情報セキュリティ 第7節 情報技術の発展による生活の変化 第8節 情報社会の発展による社会の変化	・問題を解決するためには、社会的にはどのようなルールがあるか。情報社会で生きていくために必要なことは何か。	①情報を生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において研鑽的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●	●	
				ワードを使い、文字装飾や文の体裁を整える演習		・ワープロソフトを利用して、ビジネス文書を作成する。	実習取組	●	●
	授業姿勢			●					
	6	8	第2章 コミュニケーションと情報デザイン 第1節 メディアとコミュニケーション	・コミュニケーションをとる上での送受信において必要なことは何か。自らが気をつけることは何か。	①表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本的な操作を行うことができる。 ②コミュニケーションツールとして扱うメディアのことを自分や他人のことを考えながら使用することができる。 ③得意な分野も苦手な分野も同じ気持ちで粘り強く課題に取り組む姿勢が見られる。	調べ学習	●	●	
			エクセルと、パワーポイントの基本的な操作の演習	・表計算ソフトと、プレゼンテーションソフトを利用して、基本的な操作を身につける。		実習取組	●	●	
授業姿勢							●		

7	6	第2章 第2節 情報のデジタル化	・記録メディアや通信技術の発達、情報伝達の発展がどのように人と関係したか。	①メディアリテラシーを理解している。エクセルやパワーポイントの基本操作ができる。 ②エクセルのセルを置き換えて考えることができる。パワーポイントで自由に発想し表現することができる。 ③実習において、自ら進んで考えながら演習を行っている。	調べ学習	●	●	
		エクセルの関数(検定3級まで)と、基本的なプレゼン資料の作成の演習	・エクセルで計算や合計、平均、最大、最小等の関数が使えるか。 ・パワーポイントで文字や図形、画像などを貼り付けられるか。		実習取組	●		●
					授業姿勢		●	●
8	3	第2章 第3節 情報デザイン	・社会や身の回りの問題に対して、デザインを通して解決しようと思えることができるか。	①視覚的に訴えることで効果的なものを考えることができる。 ②既存のもの組み合わせや独自の考えを盛り込んだデザインをすることができる。 ③新しいものに挑戦しようとする気持ちが見られる。	調べ学習	●		
		エクセルの関数(検定3級まで)			実習取組	●	●	●
					授業姿勢			●
9	8	前期期末考査			調べ学習	●		
		第3章 コンピュータとプログラミング 第1節 コンピュータのしくみ	・コンピュータの内部構成について考えられるか。	①コンピュータを使う側ではなく、作る側の視点から見た情報を正しく理解できる。プログラム言語の流れを理解することができる。 ②コンピュータに必要な要素を自分なりに考えることができる。 ③ワード、エクセル、パワーポイントを使用し、課題に対して前向きに取り組んでいる。 メッセージや画像取入れ技術習得	実習取組	●	●	●
		寺子屋運動ポスター作成	ユネスコ協会からの作成シートを活用		授業姿勢		●	●
10	8	第3章 第2節 アルゴリズムとプログラム	・アルゴリズムを理解し、フローチャートを作成することができるか。	①アルゴリズムのルールを理解し、フローチャートを誰が見てもわかるように書くことができる。 ②あるパターンをフローチャートにし、プログラムに置き換えることができる。 ③フローチャート図の作成や、プログラムに対して、課題に前向きに取り組む姿勢が見られる。 メッセージや画像取入れ技術習得	調べ学習	●	●	●
		ワードにおいて検定試験3級の内容を含む演習	・アルゴリズムとプログラムを連動することができるか。		実習取組		●	●
		寺子屋運動ポスター作成	ユネスコ協会からの作成シートを活用		授業姿勢		●	●
11	8	第3章 第3節 モデル化とシミュレーション	・モデル化の概念を理解し、適切なモデルを選択することができるか。	①モデル化のために必要な情報を持っていたり、調べることができる。 ②シミュレーションを行う前に、予想を立てることができる。また、予想に反した場合でもそれらを上手く自分の中に取り入れることができる。 ③プログラム言語や演習に対して、粘り強く取り組むことができる。	調べ学習	●		●
		エクセルにおいて検定試験3級の内容を含む演習	・Pythonのしくみをつかむことができるか。		実習取組	●	●	●
					授業姿勢		●	●
12	5	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 第1節 情報通信ネットワークのしくみ	・ネットワークがどのようにつながっているか。	①インターネットのしくみを理解することができる。 ②インターネットのしくみを対人関係でも活用できるかどうかを考えることができる。情報セキュリティについて、自分のこととして考えることができる。 ③準2級レベルの検定問題に対して、粘り強く演習を続けることができる。	調べ学習	●	●	
		3級検定の演習(ワード、エクセル)	・情報セキュリティを確保するとはどういうことか。		実習取組	●		●
					授業姿勢			●
1	4	第4章 第2節 情報システムとデータベース	・情報システムはどのようなものが身近にあり、それらを利用しているか。	①情報システムの学習と生活とを結びつけ、考えることができる。 ②身近にある情報システムで、自分が活用しているもののしくみを理解することができる。 ③自らが利用している情報システムがより便利になるためにはどのようなになればいいのかを考えることができる。 ④探究でのまとめのグラフ作成	調べ学習	●	●	
		ワード、エクセル、パワーポイントの検定試験2級の内容の演習	・有用な情報システムを考えることはできるか。		実習取組	●		●
		探究の実践での統計作成	各分野のデータ作成		授業姿勢			●

2	5	第4章 第3節 データの活用	・データベースの有効活用方法とは何か。	①データを利用して、調べることができる。 ②データを元にして、データベースを自ら作ることができる。 ③データを分析した上で、自らの答えや考えをまとめたり、述べることができる。 ④探究でのまとめのグラフ作成	調べ学習	●	●	
		ワード、エクセル、パワーポイントの検定試験2級の内容の演習	・データを分析する上で必要な観点は何か。		実習取組	●		●
		探究の実践での統計作成	各分野のデータ作成		授業姿勢			●
3	4	後期期末考査	各分野のデータ作成	①学習した知識を利用して、演習に取り組むことができる。 ②学習したものを利用して、演習において独自の表現をつかって課題をこなすことができる。 ③情報の授業で学習したものを利用して、新しい知識を獲得したり、既存の情報を更新しようとする意識が見られる。 ④探究でのまとめのグラフ作成	調べ学習	●	●	
		探究の実践での統計作成	・情報Ⅰで学習したことを、今後どのように生かしていくか。		実習取組	●		●
		ワード、エクセル、パワーポイントの検定試験2級の内容の演習			授業姿勢			●

2024 年度 宗教科 シラバス・年間指導計画

科目名	聖書			教科書	なし
学年	Ⅰ	単位数	Ⅰ	必修	副教材 新約聖書(日本国際ギデオン協会)

学習目標	キリスト教の教えに触れ、自分と他者を考察する。
学習の進め方	<p>2年間を通じて、「キリストの教えを学び、自分の生き方・他者との関わり方について考察を深め、より良い生き方を探究する態度を養う」ことがこの教科の目標です。</p> <p>Ⅰ年生では、キリスト教とその教えの基礎的基本的な知識を得て、自分と他者について考え始めることが中心です。授業スタイルは、座学や体験学習、ワークショップなど多様です。テストは前期授業内のⅠ回で、この他に、体験学習やワークショップの際に提出を求める作文や振り返りシート(ポートフォリオ)によって評価します。</p> <p>ほぼ全ての皆さんにとって初めての教科になりますが、一つひとつ段階を経て学習が進みますので心配は無用です。もちろん、その時々での活動における皆さんの然るべき姿勢が必要です。また、授業が行われる場所や持ち物などについて、その都度、事前に連絡します。注意しましょう。</p> <p>※なお、年間計画は一部変更される場合があります。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の宗教及びキリスト教についての基礎的基本的な内容を理解している。 ・諸資料からキリスト教の教えに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イエスの生涯と隣人愛の精神から、これまでの自分の生き方や他者との関わり方についてふりかえって評価したり、課題を発見したり、まとめた考えや思いなどを分かりやすく伝えたりすることができる。
	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・よりよい生き方の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるカトリック校の生徒としての自覚、世界の生活・文化に深い影響を与える諸宗教の多様性を尊重しようとする事の大切さについての自覚などが深まっている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	2	海星学院とキリスト教	祈りについて 建学の精神について	①祈りとは何か、祈りの分類・学校の創立過程や校章・校名の由来について理解している。祈りの所作を身に付けている。 ②創立に関わった人々の想いを知り、第Ⅰ学年の過ごし方を考察する。 ③より良い学校生活の在り方に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	ポートフォリオ			●
						6月のテスト	●	●	

5	2	マリア祭	マリアについて 宗教行事「マリア祭」	①マリアとは誰か、マリア祭の意義、アヴェ・マリアの祈りについて理解している。 ②共同祈願作成を通じて、「学校生活」「新しい出会い」「家族」について考察し、表現している。 ③宗教行事に対し関心を高め、主体的に参加しようとしている。	6月のテスト	●		
	3	世界の宗教	三大宗教について キリスト教の諸教派 グローバル化とマナー	①キリスト教・イスラム教・仏教の教祖・成立・基本的な教義・信仰者の生活、キリスト教の諸宗派を理解している。 ②諸資料からカトリックとプロテスタントの違いを考察している。 ③他者の信仰に対し関心を高め、それを尊重しようとしている。	6月のテスト	●	●	
	1	授業内テスト				●	●	
7	8	イエスの生涯と隣人愛①	姦通の女 マタイの召命 中風の人を癒す 善きサマリア人のたとえ 愛の人マザーテレサ① 愛の人マザーテレサ② 愛の人マザーテレサ③ 愛の人マザーテレサ④	①隣人愛とその実践者マザーテレサの生涯を理解している。 ②映像を通じて、イエスと律法学者の他者への関わり方の違い、登場人物の心情を考察している。 分かち合いを通じて、他者に接する時の在り方について考察している。 ③分かち合いに対し関心を高め、主体的に参加しようとしている。	ポートフォリオ	●	●	●
					作文	●	●	●
10	5	教会を知る	オリエンテーション 教会見学 振り返り	①教会とは何か、聖堂での所作や心構えを理解している。 ②共同祈願作成を通じて、「学校生活」「学友」「家族」について考察し、表現している。 ③より良い学校生活の在り方に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 他者の信仰に対し関心を高め、それを尊重しようとしている。	ポートフォリオ	●		●
11	10	イエスの生涯と隣人愛②	最後の晩餐 宗教行事「追悼ミサ」 イエスの誕生① イエスの誕生② イエスの誕生③ 宗教行事「クリスマスミサ」 映画鑑賞 振り返り	①ミサとは何か、待降節及びクリスマスの心構えを理解している。 ②宗教行事を通じて、人間の生と死について考察している。 キリストの「己を顧みずに他者に捧げる姿」と向き合い、自らの命の使い方について考察している。 ③宗教行事に対し関心を高め、主体的に参加しようとしている。 奉仕活動を通じて、他者と協働に対する関心を高め、主体的に参加しようとしている。	ポートフォリオ	●	●	●
作文						●		
	1							
	2							